ELP-730/720/520

EPSON

マルチメディア・プロジェクター

MULTIMEDIA PROJECTOR

取扱説明書

ELP-730
ELP-720
ELP-520

お使いになる前に

保証書別添

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。本製品を、安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。読んだ後は、不明な点をいつでも解決できるように、すぐ取り出して見れる場所に、保証書とともに大切に保存してください。

取扱説明書

説明書の構成と表示の意味

◆各説明書の使い方

本機の説明書は、次の３冊で構成されています。以下の順番でお読みください。

❶安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内

本製品を安全にお使いいただくための注意事項やサポートとサービスのご案内、トラブルチェックシートなどが記載されています。
使い始める前に、必ずご覧ください。

❷取扱説明書（本書）

本機を使い始めるまでの準備や基本操作、環境設定メニューの使い方と、困ったときの対処方法、お手入れの方法などについて記載しています。

❸クイックリファレンスガイド

本機の最も一般的な機能を、すぐに見られるようにまとめてあります。常にプロジェクターのそばに置き、プレゼンテーションを始める前や途中で操作を確認したくなったときにご覧ください。

◆説明書中の表示の意味

安全に関する表示

取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。
その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

⚠警告	**この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
⚠注意	**この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**

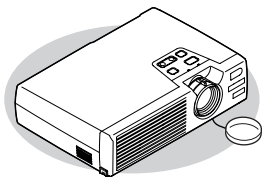
一般情報に関する表示

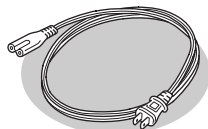
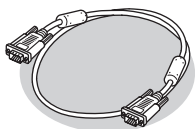
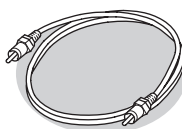
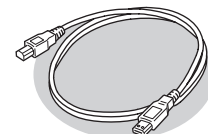
注意	本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を示しています。
ポイント	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
☛	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
▸▸	マークの前のアンダーラインの引かれた用語は、用語解説で説明しています。「付録 用語解説」をご覧ください。 ☛ p.80
操作	操作方法や作業の順番を示しています。 番号順に操作して目的の作業を行ってください。
［（ボタン名）］	操作パネルまたはリモコンのボタンを示しています。 例：［戻る］
「（メニュー名）」	環境設定メニューの項目を示しています。 例：「映像」-「明るさ」

「本機」または「本プロジェクター」という表記について

本書の中に出てくる「本機」または「本プロジェクター」という表記には、プロジェクター本体のほかに同梱品や別売品も含まれる場合があります。

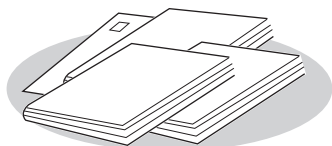
同梱品の確認

下記のチェックリストをご覧になり、同梱品を確認してください。
万一、不足や不良がありましたら、お手数ですがお買い求めいただいた販売店までご連絡ください。

□プロジェクター本体
（レンズカバー付属）

□リモコン
（リチウム電池CR2025内蔵）

□電源ケーブル
（日本国内用 1.8m）
本機と電源コンセントを接続します。

□コンピュータケーブル
（ミニD-Sub15pin/
ミニD-Sub15pin 1.8m）
本機とコンピュータを接続するときに使います。

□ RCA ビデオケーブル
（1.8m）
本機とビデオ機器を接続するときに使います。

□ USB ケーブル
（1.8m）
USB 端子のあるコンピュータと接続し、ワイヤレスマウス機能を使う場合や通信を行うときに使用します。

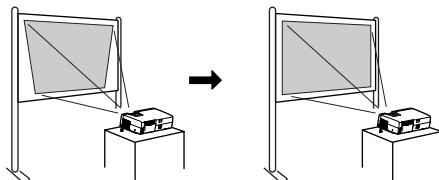
□ソフトケース
（ショルダー、取手付）
本機を持ち運ぶときに使います。

ドキュメント類

**□安全にお使いいただくために／
サポートとサービスのご案内**
□取扱説明書（本書）
□クイックリファレンスガイド
□お客様情報＋正式保証書発行カード

本機の特長

自動台形補正機能

本機の上下方向の傾きを感知し、自動的に投写映像が台形にゆがむのを補正します。

☛p. 34

自動セットアップ機能

コンピュータ映像を投写するときに、接続されたコンピュータの信号を判断し、自動的に最適な投写状態になるように調整します。何人かでプレゼンテーションを行う場合も、コンピュータを接続し直すだけで、最適な状態で投写されます。個別に手動での調整も可能です。

☛p. 37

カラーモード機能

あらかじめ登録されている次の6つの設定から、使用シーンに応じて画質を選択するだけで最適な映像を投写できます。面倒なカラー調整は不要です。

☛p. 40, 47, 48

・sRGB ▶▶　　・ノーマル　・ミーティング
・プレゼンテーション　・シアター　・ゲーム

小型で軽量

B5ファイルサイズ(奥行き19×幅27.6×高さ7cm)、
軽量(約1.9kg)なコンパクトボディーで、持ち運びも楽々。

美しく鮮明な映像

小型ながら、高解像度、高輝度による見やすい画面を実現。
明るい場所でも、美しく鮮やかな映像を写し出せます。

操作が簡単

付属のリモコンを使い、投写映像を停止する(静止機能 ☛p. 43)、大切な部分をズームアップする(E ズーム機能 ☛p. 45)などの操作ができます。
投写中のコンピュータ画面上のポインタ操作も、リモコンで行えます。(ワイヤレスマウス機能 ☛p. 21)。ワイヤレスマウス機能を使うと、Power Pointの文書をプレゼンするとき、リモコンで次ページ送り、前ページ戻しが行えます。

projector
80
70
60
50
40
30
20
10
0
Jan
Feb
Mar
Jun
Jul
C
B
A

目次

応用編

困ったときに

付　録

使い始めるまでの準備

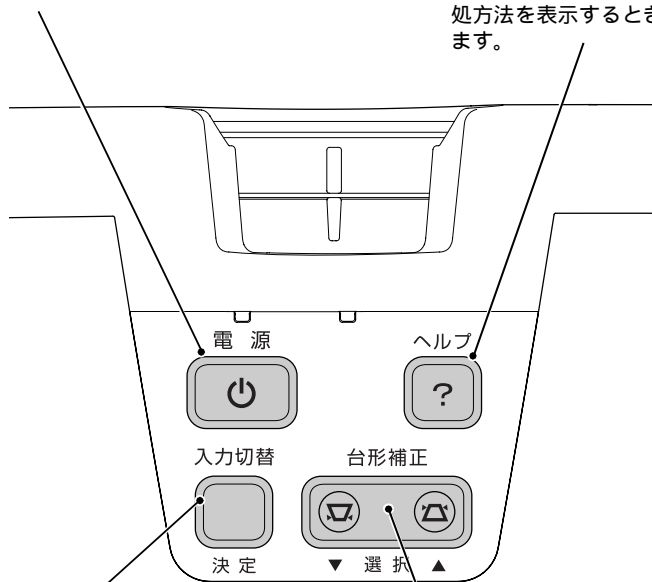
この章では、開梱後、本機を設置し、使い始めるまでの作業について説明しています。

各部の名称と働き

前面／上面

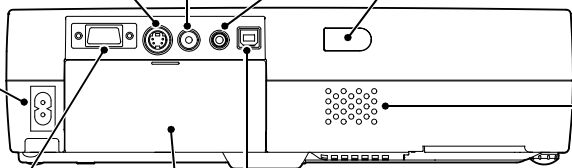
本体操作パネル

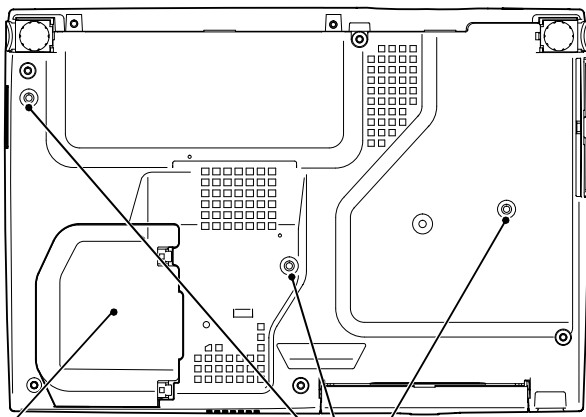
● [電源] ボタン　☛ p.29,31
電源を ON/OFF するときに押します。

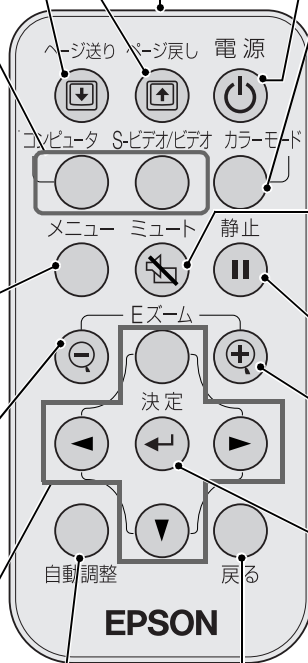
● [ヘルプ] ボタン　☛ p.58
トラブルが起こったときの対処方法を表示するときに押します。

● [入力切替] ボタン　☛ p.30
押すたびにコンピュータ / コンポーネントビデオ端子→ S-ビデオ端子→ビデオ端子の順で入力ソースを切り替えます。
ヘルプメニュー表示中は、項目の決定ボタンとして使います。☛ p.58

● [台形補正] ボタン　☛ p.36
手動で、台形にゆがんだ画面を補正するときに押します。
ヘルプメニュー表示中は、項目の選択ボタンとして使います。
☛ p.58

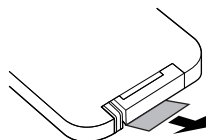
背面

●S-ビデオ端子 ☛ p.24
ビデオ機器のS-ビデオ▸▸信号を入力します。
●ビデオ端子 ☛ p.23
ビデオ機器のコンポジットビデオ▸▸信号を入力します。RCAビデオケーブルで接続します。
●音声入力端子 ☛ p.20,26
音声信号を入力します。ステレオミニジャックで接続します。
●リモコン受光部 ☛ p.12
リモコン信号を受信します。
●電源端子
☛ p.28
電源ケーブルを接続します。
●スピーカ
●コンピュータ/コンポーネントビデオ端子 ☛ p.17,24,25
コンピュータのアナログ映像信号や、ビデオ機器のコンポーネントビデオ▸▸信号を入力します。
●リモコンホルダ
☛ p.12
同梱のリモコンを使用しないときは、ここに収納します。
●USB端子 ☛ p.21
USBケーブルでコンピュータと接続します。

底面

●ランプカバー ☛ p.74
ランプの交換時にこのカバーを開けて、中のランプを交換します。
●天吊固定部(3箇所) ☛ p.14,79
天井から吊り下げて使うとき、オプションの天吊り金具を取り付けます。

リモコン

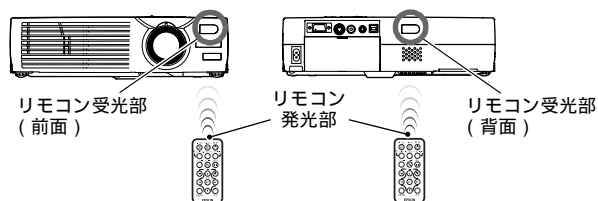
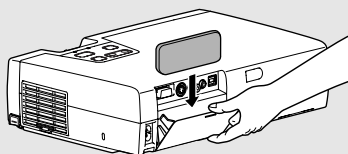
- **[ページ送り][ページ戻し]ボタン** ☛ p.21
  ワイヤレスマウスとして使用しているとき、このボタンを押して PowerPoint ファイルのページ送り / 戻しができます。
- **入力切替ボタン** ☛ p.30
  [コンピュータ]：コンピュータ / コンポーネントビデオ端子からの映像に切り替えます。
  [S-ビデオ / ビデオ]：S-ビデオ端子またはビデオ端子からの映像に切り替えます。
- **[メニュー] ボタン** ☛ p.55
  環境設定メニューを表示 / 終了します。
- **[E ズーム] ボタン(⊖)** ☛ p.45
  [⊕] ボタンで拡大した結果を縮小します。
- **[▲][▼][◄][►] ボタン** ☛ p.22,55,58
  ワイヤレスマウスとして使用しているときは、ボタンを押すと各ボタンに対応した方向にポインタが移動します。
  環境設定メニューやヘルプが表示されているときは、メニュー項目や設定値の選択を行います。
- **[自動調整] ボタン** ☛ p.37
  自動セットアップが OFF に設定されているときに、コンピュータ映像を自動調整し、最適化します。
- **リモコン発光部** ☛ p.13
  リモコン信号を出力します。
- **[電源] ボタン** ☛ p.29,31
  プロジェクターの電源を ON/OFF します。
- **[カラーモード] ボタン** ☛ p.40
  カラーモードを切り替えます。押すたびに、ノーマル→ミーティング→プレゼンテーション→シアター→ゲーム→ sRGB▸▸の順で切り替わります。
- **[ミュート] ボタン** ☛ p.42
  映像と音声を一時的に消します。
- **[静止] ボタン** ☛ p.43
  映像を一時停止します。
- **[E ズーム] ボタン(⊕)** ☛ p.45
  投写サイズは変えずに、映像を拡大します。
- **[決定] ボタン** ☛ p.22,55,58
  環境設定メニューやヘルプの項目を決定したり、1 つ下の階層に進みます。
  ワイヤレスマウスとして使用するときは、マウスの左クリックとして機能します。
- **[戻る] ボタン** ☛ p.22,56
  実行中の機能を終了します。環境設定メニュー表示時には 1 つ上の階層に戻ります。
  ワイヤレスマウスとして使用するときは、マウスの右クリックとして機能します。

リモコンをお使いになる前に

リモコンの使い方と操作範囲

初めてお使いになるときは、電池ホルダから出ている絶縁テープを引き抜いてください。絶縁テープを引き抜くと、リモコンが使えるようになります。

使い方

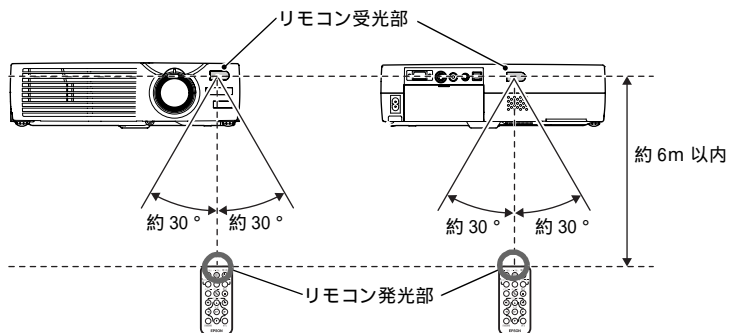
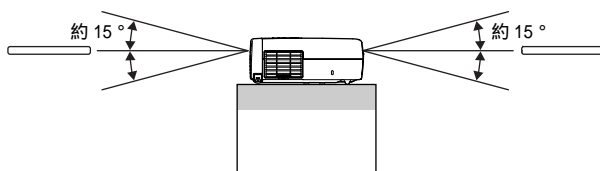
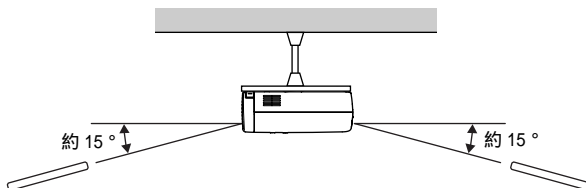
リモコンの使い方は次のとおりです。

操作

リモコンの発光部をプロジェクターのリモコン受光部に向けて操作します。

- **プロジェクターのリモコン受光部に直射日光や蛍光灯の光などが直接当たらないようにしてください。リモコンからの信号を受信できないことがあります。**
- **使い続けているうちに、リモコンの反応が遅くなったり、操作できなくなった場合は電池の寿命が考えられます。新しい電池と交換してください。** ☛ p.72
- **リモコンを使わないときは、リモコンの紛失を防ぐために本体背面のリモコンホルダに収納してください。**

操作範囲

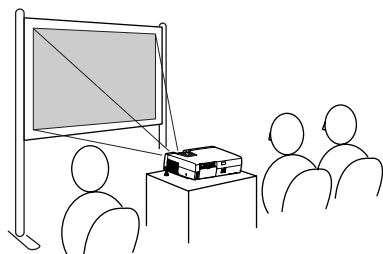
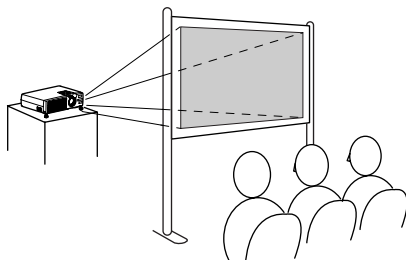
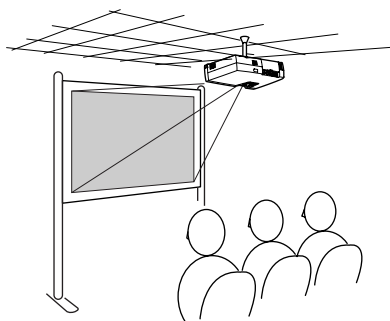
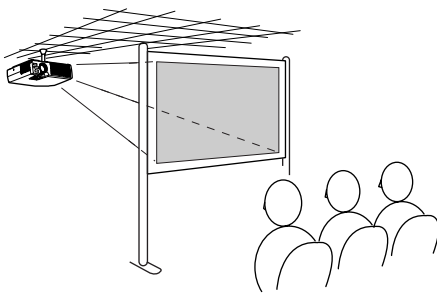
リモコンで操作する場合は、次の範囲でお使いください。受光部との距離や角度が操作可能範囲を外れると、リモコン操作が働きません。

操作可能距離	操作可能範囲
約 6m	左右約 30 ° 上下約 15 °

左右約 30 °

上下約 15 °

天吊りの場合

本機の設置

設置方法

本機の投写方法は、次の4種類があります。設置場所の条件に合わせて設置してください。

設置にあたっては、別冊の『安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内』を必ずお読みください。

- **正面から投写する**
- **半透過性のスクリーンへ裏側から投写する**

- **天吊りして正面から投写する**
- **天吊りして半透過性のスクリーンへ裏側から投写する**

※天吊り用の取り付けは特別な技術が必要です。天吊りで使用する場合は販売店にご相談ください。天吊りするには、オプションの天吊り金具が必要です。☛ p.79

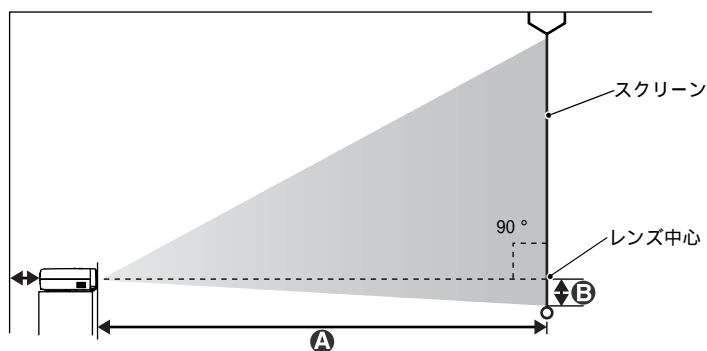
天吊りやスクリーンの裏側から投写するときは、環境設定メニューの「高度な設定」-「上下反転」、「リア」を設置の状態に合わせて変更します。 **☛ p.52**

スクリーンサイズと投写距離

本機のレンズからスクリーンまでの距離により投写画面サイズが異なります。

推奨距離範囲	1.0m 〜 11.7m

下表を参考にして、スクリーンに映像が最適な大きさで写るように設置してください。
値は、設置の目安にしてください。投写条件やズームの設定により、変わります。

4:3 スクリーンサイズ (cm)	投写距離Ⓐ(m)	レンズ中心からスクリーン下端までの高さⒷ(cm)
30 型 (61 × 46)	1.0 〜 1.1	4.6
40 型 (81 × 61)	1.3 〜 1.5	6.1
60 型 (120 × 90)	2.0 〜 2.3	9.1
80 型 (160 × 120)	2.7 〜 3.1	12.2
100 型 (200 × 150)	3.3 〜 3.9	15.2
200 型 (410 × 300)	6.7 〜 7.8	30.5
300 型 (610 × 460)	10.1 〜 11.7	45.7

※壁際に設置する場合は、壁から 20cm 以上の間隔をあけてください。

- **本機のレンズは約 1.16 倍ズームです。最大拡大時は、最小時の約 1.16 倍のサイズで投写できます。**
- **台形補正をすると、画面サイズは小さくなります。**

コンピュータとの接続

コンピュータを接続する際は、次の点を確認してください。
- **接続する前に本機とコンピュータの電源を切ってください。電源が入った状態で接続すると、故障の原因になります。**
- **ケーブルのコネクタ形状と端子の形状を確認して接続してください。向きや形状が異なっているものを無理に押し込むと故障や機器の破損の原因になります。**

接続できるコンピュータ

コンピュータによっては接続できないものや、接続できても投写できないものがあります。以下の、接続できるコンピュータの条件と照らし合わせて確認してください。

- **条件1：接続するコンピュータに映像信号の出力端子があること**
  コンピュータに「RGB端子」「モニター端子」「CRT端子」などの映像信号を出力させる端子があることを確認してください。
  コンピュータとモニターが一体型のタイプやノートパソコンなどの場合は、接続できなかったり外部出力端子を別途購入する必要があるものがあります。詳しくは、コンピュータの取扱説明書の「外付けのモニターを接続する」などの項目をご覧ください。

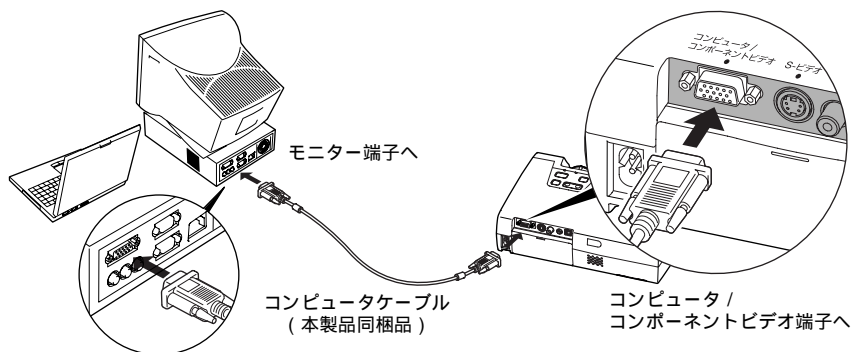
- **条件2：接続するコンピュータの解像度と周波数が「対応解像度一覧」の範囲内であること「付録 対応解像度一覧」(☛p.84)**
  コンピュータによっては出力解像度を変更できますので、コンピュータの取扱説明書をご覧になり対応解像度一覧の範囲内の設定に変更してください。

- **コンピュータの端子形状によっては、接続の際に市販のアダプタ類などが必要になることがあります。詳しくはコンピュータの取扱説明書をご覧ください。**
- **コンピュータと本機が離れて設置されており、同梱のコンピュータケーブルでは届かないときは、オプションのコンピュータケーブルをお使いください。** ☛「付録 オプション一覧」p.79

コンピュータの映像を写す

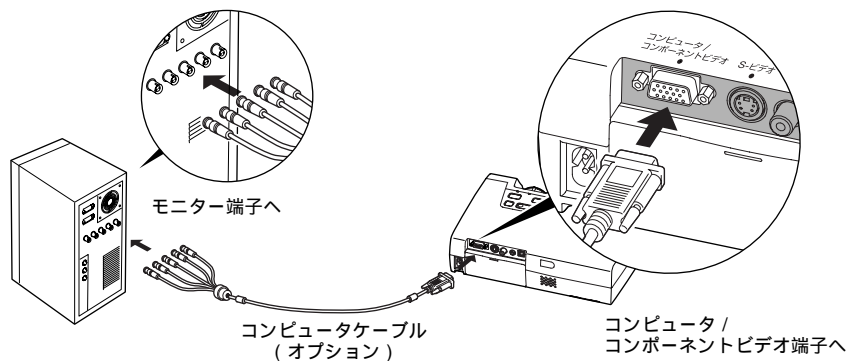
コンピュータのモニター端子の形状や規格により、使用するケーブルが異なります。お使いになるコンピュータに合わせて、以降の内容をお読みください。

モニター端子がミニ D-Sub 15pin 端子の場合

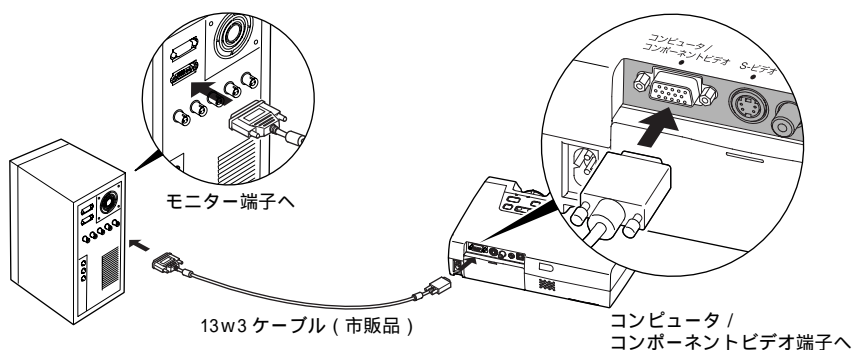
コンピュータのモニター端子と、本機背面のコンピュータ / コンポーネントビデオ端子を同梱のコンピュータケーブルで接続します。

- **接続後は、環境設定メニューの「映像」-「入力信号」で「RGB」に設定します。** **☛ p.47**
- **本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後、投写映像の右上に「Computer」と表示されるまで本体の[入力切替]ボタン、またはリモコンの[コンピュータ]ボタンを繰り返し押してください。** **☛ p.30**
- **電源ケーブルとコンピュータケーブルは一緒に結束しないでください。映像にノイズが現れたり、誤動作の原因になります。**

モニター端子が 5BNC 端子の場合

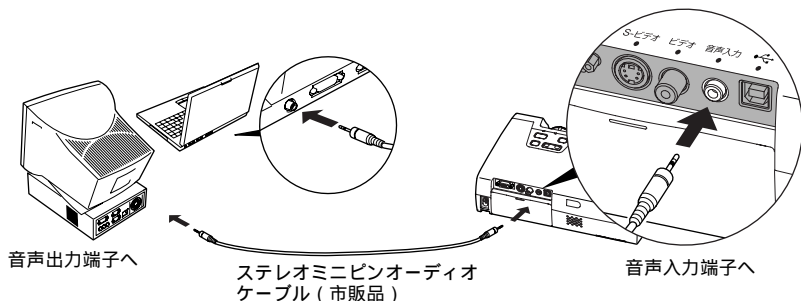
コンピュータのモニター端子と、本機背面のコンピュータ / コンポーネントビデオ端子をオプションのコンピュータケーブルで接続します。

☛「付録 オプション品一覧」p.79

- 接続後は、環境設定メニューの「映像」-「入力信号」で「RGB」に設定します。 ☛ p.47
- 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後、投写映像の右上に「Computer」と表示されるまで本体の [入力切替] ボタン、またはリモコンの [コンピュータ] ボタンを繰り返し押してください。 ☛ p.30
- 電源ケーブルとコンピュータケーブルは一緒に結束しないでください。映像にノイズが現れたり、誤動作の原因になります。

モニター端子が 13w3 端子の場合

ワークステーション対応のコンピュータでは、モニター端子が13w3端子の場合があります。
コンピュータのモニター端子と本機背面のコンピュータ / コンポーネントビデオ端子を市販の 13w3 ⇔ D-Sub15 ケーブルで接続します。

- **接続後は、環境設定メニューの「映像」-「入力信号」で「RGB」に設定します。** **☛ p.47**
- **本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後、投写映像の右上に「Computer」と表示されるまで本体の[入力切替] ボタン、またはリモコンの[コンピュータ] ボタンを繰り返し押してください。** **☛ p.30**
- **電源ケーブルとコンピュータケーブルは一緒に結束しないでください。映像にノイズが現れたり、誤動作の原因になります。**
- **ワークステーションによっては、専用ケーブルが必要な場合があります。詳しくは、お使いのワークステーションのメーカーに確認してください。**

コンピュータの音声を出す

本機には、最大 1W のスピーカが 1 個内蔵されています。音声出力端子を持つコンピュータの音声を本機の内蔵スピーカから出力させるには、コンピュータの音声出力端子と本機背面の音声入力端子 (ステレオミニジャック) を、市販のステレオミニピンオーディオケーブルで接続します。ステレオミニピンオーディオケーブルは 3.5φ ステレオミニピンケーブルを推奨します。

音量を調整するには、以下のように環境設定メニューで行います。

操作

1 **リモコンの [メニュー] ボタンを押し、環境設定メニューから「音声」 - 「音量」を選びます。**

操作の詳細は、「環境設定メニューの操作」をご覧ください。 ☛ p.55

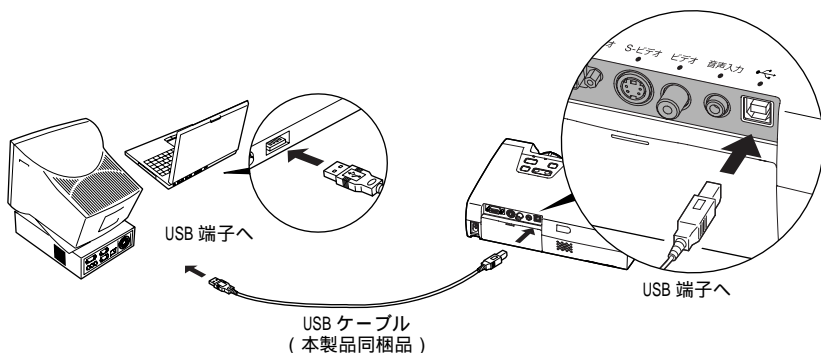
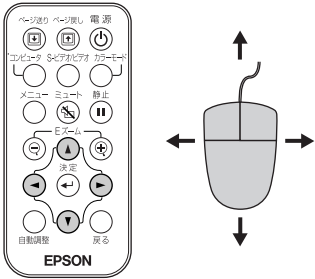
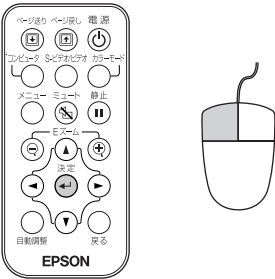
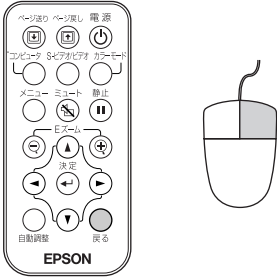
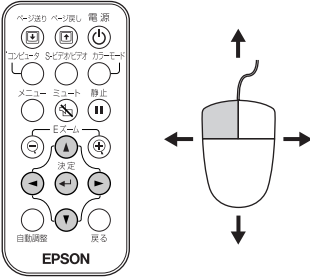
2 **[◄] [►] ボタンを押して、音量を設定します。**

ボタンを押すたびに、音量が増減します。

3 **設定が終了したら [メニュー] ボタンを押して環境設定メニューを終了します。**

リモコンでマウスポインタを操作する（ワイヤレスマウス機能）

コンピュータのUSB▸▸端子と、本機背面のUSB端子を同梱のUSBケーブルで接続すると、ワイヤレスマウスのように、同梱のリモコンでコンピュータのマウスポインタを操作できます。

対応コンピュータ	マウスの種類	使用するケーブル
Windows 98/2000/Me/ XP Home Edition/ XP Professional	USBマウス	USBケーブル(同梱品)
Macintosh (OS 8.6～9.2/X/10.1)	USBマウス	USBケーブル(同梱品)

※ワイヤレスマウスとして使用しているときは、リモコンの[ページ送り][ページ戻し]ボタンで、PowerPointファイルのページ送り/戻しができます。

- USBケーブルでの接続は、USB標準搭載モデルにのみ対応しています。Windowsの場合は、Windows98/2000/Me/XP Home Edition/XP Professionalプリインストールモデルだけに対応しています。アップグレードしたWindows98/2000/Me/XP Home Edition/XP Professional環境下では動作を保証いたしません。
- Windows/MacintoshともにOSのバージョンによりワイヤレスマウス機能を使用できない場合があります。
- マウスを使用するために、コンピュータ側の設定が必要な場合があります。詳しくはコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

接続した後はマウスポインタを次のように操作できます。

マウスポインタの移動
リモコンの [▲][▼][◄][►] ボタンを押すと、押した方向にマウスポインタが移動します。

左クリック
[決定] ボタンを押します。
すばやく 2 回続けて押すと、ダブルクリックになります。

右クリック
[戻る] ボタンを押します。

ドラッグ＆ドロップ
[決定] ボタンを押したまま、[▲][▼][◄][►] ボタンを押すと、ドラッグの動作になります。任意の場所で [決定] ボタンを離すと、ドロップします。

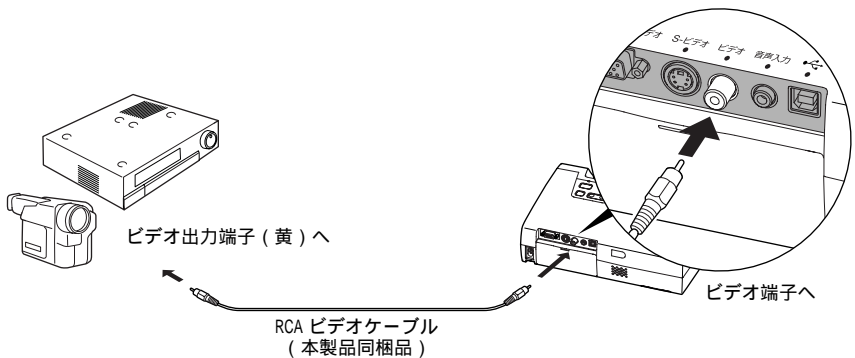
- **コンピュータでマウスボタンの左右を逆に設定している場合は、リモコンでの操作も逆になります。**
- **環境設定メニュー、ヘルプの表示中、またはEズーム機能の使用中には、ワイヤレスマウス機能は使用できません。**

ビデオ機器との接続

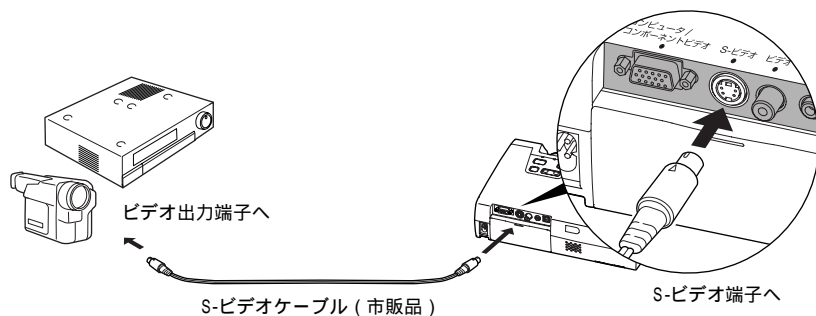
ビデオ機器を接続する際は、次の点に注意してください。

- 接続する前に本機とビデオ機器の電源を切ってください。電源が入った状態で接続すると、故障の原因になります。
- ケーブルのコネクタ形状と端子の形状を確認して接続してください。向きや形状が異なっているものを無理に押し込むと故障や機器の破損の原因になります。

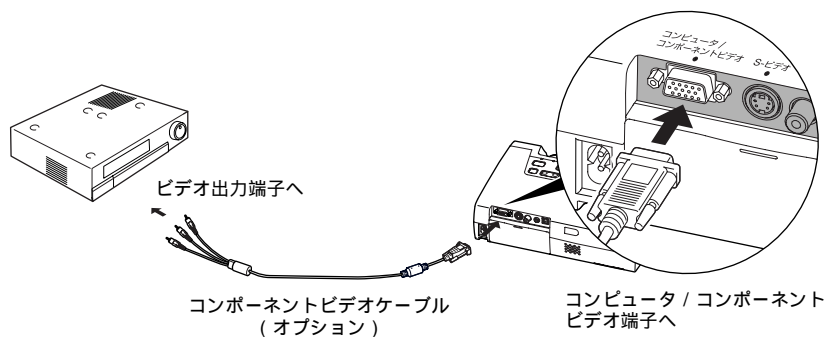
コンポジットビデオ の映像を写す

ビデオ機器と、本機背面のビデオ端子を同梱の RCA ビデオケーブルで接続します。

本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後、投写映像の右上に「Video」と表示されるまで本体の[入力切替]ボタン、またはリモコンの［S-ビデオ / ビデオ ］ボタンを繰り返し押してください。☛ p.30

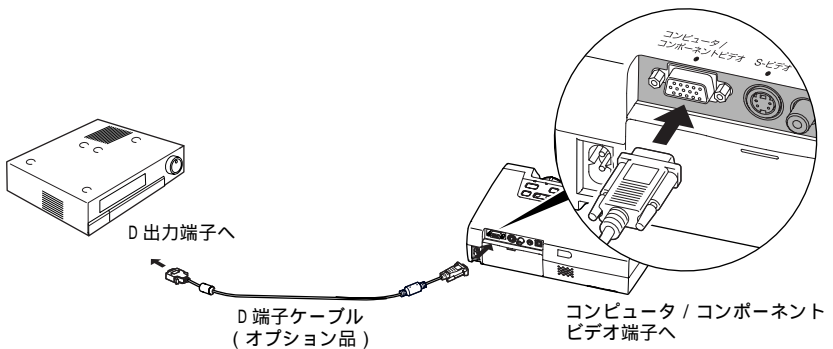
S-ビデオ の映像を写す

ビデオ機器と本機背面の S-ビデオ端子を市販の S-ビデオケーブルで接続します。

本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後、投写映像の右上に「S-Video」と表示されるまで本体の［入力切替］ボタン、またはリモコンの［S-ビデオ / ビデオ］ボタンを繰り返し押してください。
☛ p.30

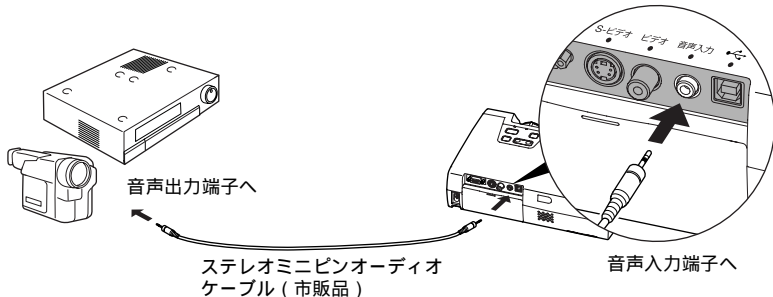
コンポーネントビデオ の映像を写す

ビデオ機器と本機背面のコンピュータ / コンポーネントビデオ端子をオプションのコンポーネントビデオケーブルで接続します。
☛「付録 オプション品一覧」p.79

- 接続後は、環境設定メニューの「映像」-「入力信号」で機器の信号に合わせて「YCbCr」、または「YPbPr」に設定します。 ☛ p.48
- 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後、機器の信号に応じて「YCbCr」または「YPbPr」と投写映像の右上に表示されるまで本体の [入力切替] ボタン、またはリモコンの [コンピュータ] ボタンを繰り返し押してください。 ☛ p.30

BS デジタルチューナの映像を写す

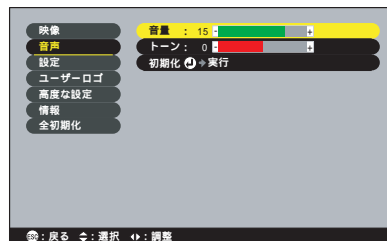
BS デジタルチューナと本機背面のコンピュータ / コンポーネントビデオ端子をオプションの D 端子ケーブルで接続します。
☛「付録 オプション品一覧」p.79

- 接続後は、環境設定メニューの「映像」-「入力信号」で「YPbPr」に設定します。 ☛ p.48
- 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後、投写映像の右上に「YPbPr」と表示されるまで本体の [入力切替] ボタン、またはリモコンの [コンピュータ] ボタンを繰り返し押してください。 ☛ p.30
- BS デジタルチューナへの接続は、日本国内でのみ可能です。
- D4 規格までの BS デジタルチューナに対応しています。

ビデオ機器の音声を出す

本機には、最大 1W のスピーカが 1 個内蔵されています。ビデオ機器の音声を本機の内蔵スピーカから出力させるには、ビデオ機器の音声出力端子と本機背面の音声入力端子 (ステレオミニジャック) を、市販のステレオミニピンオーディオケーブルで接続します。ステレオミニピンオーディオケーブルは 3.5φ ステレオミニピンケーブルを推奨します。

音量を調整するには、以下の操作を行ってください。

操作

1 **リモコンの [メニュー] ボタンを押し、環境設定メニューから「音声」-「音量」を選びます。**
操作の詳細は、「環境設定メニューの操作」をご覧ください。☛ p.55

2 **[◄][►] ボタンを押して、音量を設定します。**
ボタンを押すたびに、音量が増減します。

3 **設定が終了したら [メニュー] ボタンを押して環境設定メニューを終了します。**

基本操作編

ここでは、投写開始と終了、投写映像の調整など基本的な機能について説明しています。

電源を入れ投写しよう

電源を入れ、投写を行います。

投写する前に、別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内』を必ずお読みください。

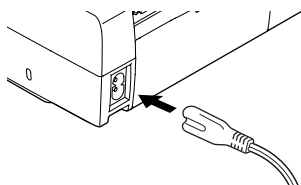
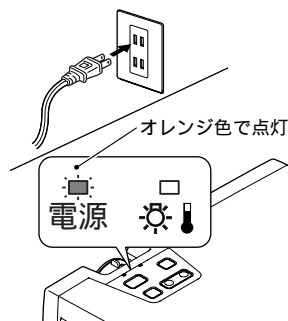
電源ケーブルを接続しよう

操作

1 **本機と本機に接続するすべての機器の電源が切ってあることを確認します。**

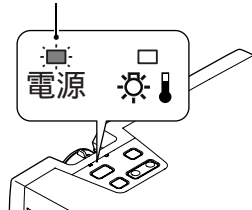
2 **本機とコンピュータあるいはビデオ機器を接続します。** ☛ p.17,23

3 **レンズカバーを外します。**
レンズカバー上部に指をかけて取り外します。

4 **本機に、同梱の電源ケーブルを取り付けます。**
本機の電源端子と、電源コネクタの形状を確認し、しっかりと奥まで差し込みます。

5 **電源プラグをコンセントに差し込みます。**
電源インジケータがオレンジ色の点灯に変わるまで待ちます。

電源インジケータがオレンジ色に点滅しているときは、リモコンや操作パネルのボタン操作は無効となります。

電源ON、投写開始

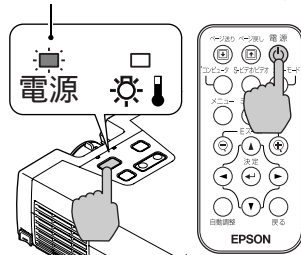
操作

1 **電源インジケータがオレンジ色で点灯しているのを確認します。**

2 **本機に接続されている機器の電源を入れます。**

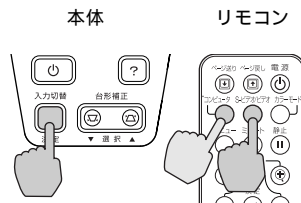
ビデオ機器の場合は、さらにビデオ機器の [再生] や [プレイ] ボタンを押します。

3 **本体、またはリモコンの [電源] ボタンを押して電源を入れます。**

電源インジケータが緑色の点滅に変わります。しばらくするとランプが点灯し投写が始まります。

電源インジケータが緑色の点灯に変わるまで待ちます (約 40 秒かかります)。

リモコン

電源インジケータが緑色で点滅しているときは、操作パネルやリモコンのボタン操作は無効となります。
環境設定メニューの設定によっては、「映像信号が入力されていません。」と表示されます。 ☛「設定」-「ノーシグナル表示」p.50

4 複数の機器を接続している場合は、下表を参照し、本体またはリモコンのボタンで目的の機器が接続されている端子を選択します。

接続端子	選択するボタン		画面右上の表示
	本体	リモコン	
コンピュータ / コンポーネントビデオ	[入力切替] を押すたびに映像ソースが切り替わります。	[コンピュータ]	Computer ※ YCbCr ※ YPbPr ※
S-ビデオ		[S-ビデオ / ビデオ]	S-Video
ビデオ			Video

※環境設定メニューの「映像」-「入力信号」で設定されているものが表示されます。

- **接続機器が１台だけの場合は、ボタンを押さなくても投写されます。**
- **「映像信号が入力されていません。」と表示されたままの場合は、接続をもう一度確認してください。**
- **ノートタイプや液晶一体型のコンピュータを接続したときには、映像が投写されないことがあります。接続後にコンピュータの信号を外部に出力させる設定をコンピュータ側で行ってください。**
  下表は、出力切り替えの一例です。詳しくはコンピュータの取扱説明書の「外部出力のしかた」や「外部モニターへの出力」などの項をご覧ください。

NEC 製	Panasonic 製	東芝製	IBM 製	SONY 製	富士通	Macintosh
[Fn]+[F3]	[Fn]+[F3]	[Fn]+[F5]	[Fn]+[F7]	[Fn]+[F7]	[Fn]+[F10]	再起動した後、コントロールパネルの調整でミラーリングの設定にする。

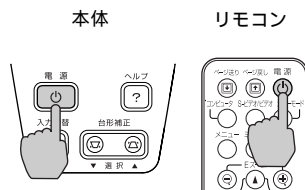
- **同一の静止映像を長時間投写していると、投写映像に残像が残ることがありますので、静止映像は長時間投写しないでください。**

電源を切り終了しよう

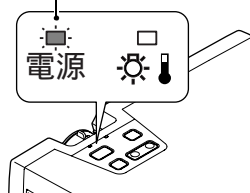
投写を終了するには､次の手順で行います。

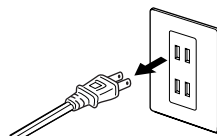
操作

1 **本機に接続している機器の電源を OFF にします。**
すべての接続機器の電源が切れていることを確認します。

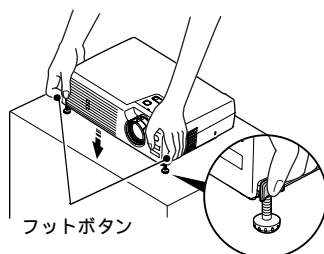
2 **本体、またはリモコンの [電源] ボタンを押します。**
次の確認のメッセージが表示されます。

電源を切りたくないときは､他のボタンを押します。
何も操作しないと､7 秒後に自動的にメッセージが消えます (電源は切れません)。

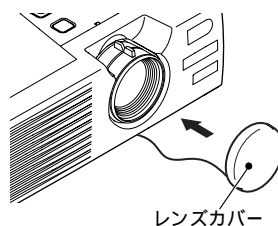
3 **もう一度 [電源] ボタンを押します。**
ランプが消灯します。電源インジケータがオレンジ色に点滅し､クールダウンが始まります。
クールダウンの時間は約 45 秒です (外気温などによって変わります)。

電源インジケータがオレンジ色に点滅しているときは､リモコン､または操作パネルのボタン操作は無効になります。点灯に変わるまでお待ちください。

4 **クールダウンが終了したことを確認します。**
クールダウンが終了すると､電源インジケータがオレンジ色の点灯に変わります。

5 **電源ケーブルのプラグをコンセントから抜きます。**

> **注意** 電源インジケータがオレンジ色に点滅しているときは、電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因になったり、ランプの交換時期が早くなります。

6 **フロントフットが出ているときは、元の高さに戻します。**

両側のフットボタンを両方とも押したまま、本機をゆっくりと降ろします。

7 **レンズカバーを取り付けます。**

レンズにホコリや汚れが付着するのを防ぐために、使用しないときはレンズカバーを取り付けます。

投写画面を調整しよう

投写画面の補正や各種調整を行い、最適な投写状態にします。

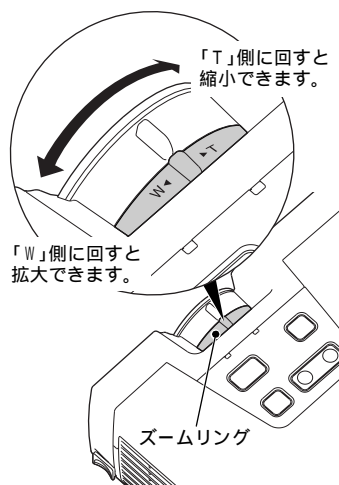
投写サイズの微調整

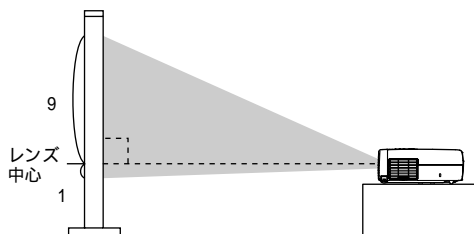
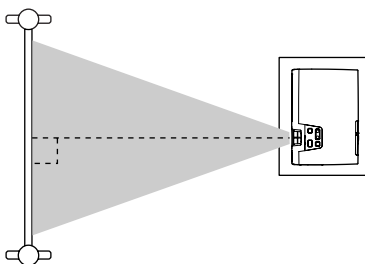
基本的に投写サイズは、スクリーンから本機の設置位置までの距離で合わせます。☛ p.15
ここでは、その後に行う調整の方法を説明します。

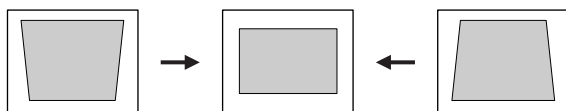
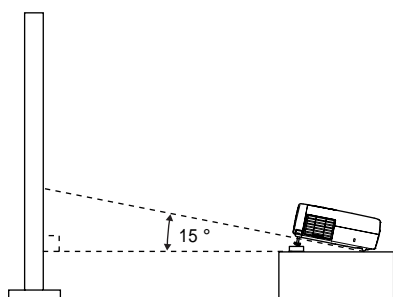
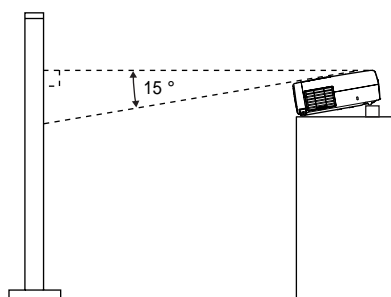
一部分を拡大するEズーム機能もあります。☛ p.45

操作

本体のズームリングを回して調整します。
1.16 倍まで拡大できます。

さらに拡大したいときは、投写距離で調整します。☛ p.15

投写角度の調整と自動台形補正機能

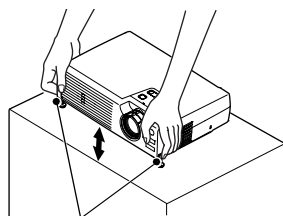
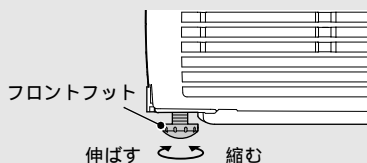
プロジェクターは、できるだけスクリーンと直角になるように設置してください。

スクリーンに対して直角に設置できない場合は、上下方向に傾けて設置できます。上方向に対しては、フロントフットの伸縮を調節することで、最大傾斜角度 11 °までの範囲で投写角度を調整できます。

本機を傾けると、画面は台形にゆがみます。本機は、画面のゆがみを自動的に補正する「自動台形補正機能」を備えており、上下に約 15 °※までの傾きであれば、自動的に台形補正が行われ、ゆがみのない映像を投写します。自動台形補正は、電源を入れてある状態で本機を設置して約 1 秒後に行われます。

※ズームリングを最も「T」側に設定したときの値です。ズームリングを「W」側に調整するほど、対応できる傾斜角度の値は小さくなります。

- 環境設定メニューの「高度な設定」-「リア」、または「上下反転」が「ON」のときは自動台形補正は行われません。
- 自動台形補正が行われたあと、さらに微調節したい場合は本体操作パネルの [台形補正] ボタンを押して補正を行うことができます。☛ p.36

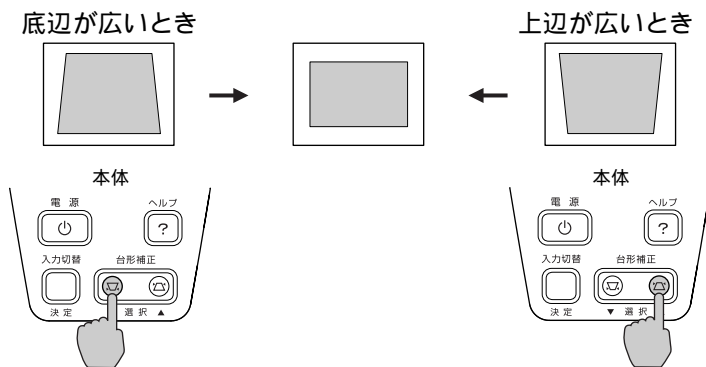
操作

両側のフットボタンを両方とも押したまま、本機前面を持ち上げると、フロントフットが伸びます。

投写したい角度になるまでフロントフットを伸ばし、フットボタンを離します。
フロントフットを収納するには、フットボタンを押したまま、本機をゆっくり降ろします。

- 本機が水平方向に傾いているときは、左右のフロントフットの接地部を回して、高さを微調整してください。

- 台形補正をすると画面が小さくなります。
- 台形補正でムラが目立つ場合は、シャープネスを下げてください。☛ p.47,48
- 自動台形補正が不要な場合は、環境設定メニューの「設定」-「自動台形補正」を「OFF」に設定してください。☛ p.50

台形にゆがむ場合の手動補正

本機は、投写時に上下の傾きを検知し、自動的に台形補正を行う「自動台形補正機能」を備えています。自動台形補正の結果に、さらに微調整を行いたい場合は、操作パネルの [台形補正] ボタンを押して調整します。

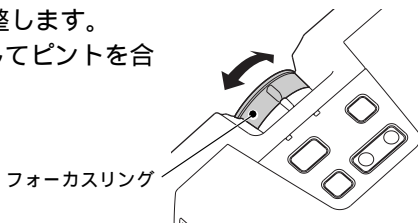
操作

- 台形補正をすると画面が小さくなります。
- 台形補正でムラが目立つ場合は、シャープネスを下げてください。
  ☛ p.47,48
- 台形補正は環境設定メニューでも調整できます。 ☛ p.50
- 台形補正を行っているときに、画面に表示されるゲージの値が変化しなくなったら、台形補正量の限界を超えたことを示しています。本機を制限以上に傾けて設置していないか確認してください。

画質の調整をしよう

映像の画質を調整します。

ピントを合わせる

操作

フォーカスリングを回して調整します。
本体のフォーカスリングを回してピントを合わせます。

ポイント

- **レンズが汚れているときや結露して曇っているときはピントが合いません。汚れや曇りを取り除いてください。** ☛ p.64,70
- **設置距離が1.0〜11.7mからはずれると、ピントが合いません。設置距離を確認してください。**

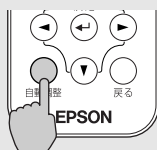
コンピュータ映像の調整

自動セットアップ

接続されたコンピュータの信号を判断し、コンピュータの映像を最適な状態に自動的に調整します。
自動セットアップで調整されるのは、トラッキング、表示位置、同期(Sync.)の3項目です。

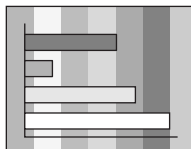
ポイント

- **環境設定メニューの「映像」-「自動セットアップ」を「OFF」に設定している場合は（初期設定は「ON」）、自動セットアップ機能は働きません。この場合は、コンピュータの映像を投写中に、リモコンの [自動調整] ボタンを押して、調整を行います。**

リモコン

- **Eズーム機能や静止機能を実行しているときや環境設定メニュー、ヘルプを表示中に [自動調整] ボタンを押すと、実行している機能を解除してから調整します。**
- **コンピュータが出力している信号によっては、うまく調整できない場合があります。そのような場合は、環境設定メニューで、トラッキングと同期をそれぞれ調整してください。** ☛ p.38,39

トラッキングの調整

自動セットアップを行っても、コンピュータの映像に縦の縞模様が出て調整しきれない場合は、次のように個別にトラッキングの調整を行います。

操作

1 リモコンの [メニュー] ボタンを押し、環境設定メニューから「映像」-「トラッキング」を選びます。

操作の詳細は、「環境設定メニューの操作」をご覧ください。☛ p.55

2 [◄][►] ボタンを押して、トラッキングの値を設定します。

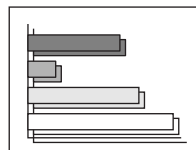
ボタンを押すたびに、トラッキングの値が増減します。

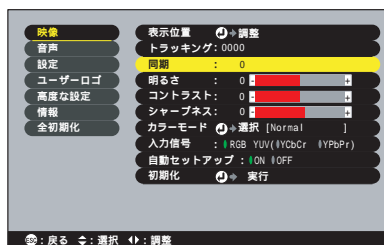
3 設定が終了したら [メニュー] ボタンを押して環境設定メニューを終了します。

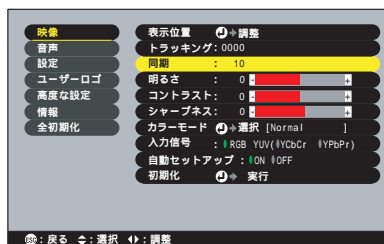
連続してトラッキングを調整すると、投写映像が点滅しますが、故障ではありません。

同期の調整

自動セットアップを行っても、コンピュータの映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出て調整しきれない場合は、次のように個別に同期▶▶調整を行います。

操作

1 リモコンの[メニュー]ボタンを押し、環境設定メニューから「映像」-「同期」を選びます。

操作の詳細は、「環境設定メニューの操作」をご覧ください。 ☛ p.55

2 [◄][►] ボタンを押して、同期の値を設定します。

ボタンを押すたびに、同期の値が増減します。

3 設定が終了したら[メニュー]ボタンを押して環境設定メニューを終了します。

- **トラッキングを合わせてから同期を調整しないと、完全には調整できません。トラッキングのずれは、表示している画面によっては目立たない場合があります。縦線や網点の多い画面では目立ちやすくなりますので、トラッキングのずれを確認してください。**
- **ちらつき、ぼやけは、明るさやコントラスト▶▶、シャープネス、台形補正の調整で起こることもあります。**

映り具合を選ぶ（カラーモード選択）

映像の特徴に合わせた次の 6 種類の設定があらかじめ記録されています。投写映像に応じて選択するだけで、簡単に最適な画質で投写できます。モードによって投写の明るさが異なります。

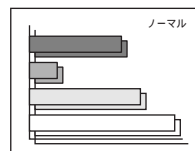
モード名	使い方
sRGB	色の標準規格である sRGB に準拠します。接続している機器に sRGB モードがある場合、本機と接続機器の両方とも sRGB に設定して使用します。
ノーマル	明るさを重視した、明るい部屋でのプレゼンテーション用です。
ミーティング	補色をせず、元の色合いのままメリハリを付けた映像にします。
プレゼンテーション	暗い部屋でのプレゼンテーション用です。
シアター	自然な色合いで映画に最適です。
ゲーム	明るさを重視した、明るい部屋でのゲーム用です。

操作

リモコンの［ カラーモード ］ボタンを押すたびに次の順でカラーモードが切り替わります。

ノーマル → ミーティング → プレゼンテーション → シアター → ゲーム → sRGB…

モードを切り替えるたびに、画面右上に現在の設定が表示されます。

カラーモードの初期設定値は、コンピュータ映像入力時「ノーマル」、コンポーネントビデオや ビデオ、S-ビデオ入力時「シアター」になっています。

環境設定メニューの「映像」-「カラーモード」からも設定できます。
☛ p.47,48

応用編

この章では、投写を効果的にするための機能と環境設定メニューについて説明しています。

投写を効果的にする機能

ここでは、プレゼンテーションなどに有効で便利な各機能について説明しています。

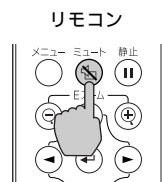
ミュート機能

映像と音声を一時的に消します。
例えば、コンピュータの映像を投写中にファイルの切り替えを行うなど、操作内容を見ている人に表示したくない場合に使用すると便利です。
ただし、動画を消している場合は消えている間も映像と音声は進んでいますので、消したときの場面からは再開できません。

操作

リモコンの [ミュート] ボタンを押します。
映像と音声が消えます。

もう一度 [ミュート] ボタンを押すと投写を再開します。

リモコン

映像と音声を一時的に消したときの状態を、環境設定メニューの「設定」-「A/V ミュート」により、次の 3 種類の中から選択できます。 ☛ p.50

黒一色	青一色	ユーザーロゴ

EPSON

初期設定

ユーザーロゴには EPSON ロゴが登録してあります。ユーザーロゴを変更する場合は、ユーザーロゴの登録と設定が必要です。 **☛ p.77**

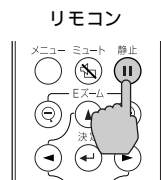
静止機能

映像の動きを一時的に停止します。ただし、音声は停止しません。
動画を停止している場合は、停止している間も映像は進んでいますので、停止したときの場面からは再開できません。

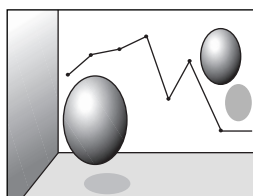
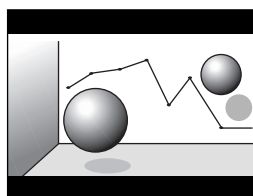
操作

リモコンの [静止] ボタンを押します。
映像が停止します。

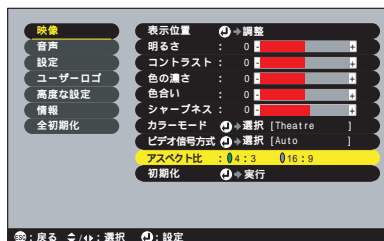
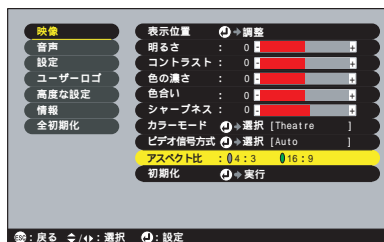
解除するには再び [静止] ボタンを押すか、
[戻る] ボタンを押します。

リモコン

- **[静止]ボタンを押すと、環境設定メニュー、ヘルプメニューは消去されます。**
- **E ズーム実行時も、静止機能で停止できます。
ただし、静止機能を解除するときは [静止] ボタンのみが有効となります。**

コンポーネントビデオ、ビデオ映像投写時に、ワイドサイズの映像を写す（アスペクト比の切り替え）

コンポーネントビデオ（YCbCr、YPbPr）、ビデオ（S-ビデオ、ビデオ）投写時は、アスペクト比4：3 と 16：9 を切り替えることができます。
デジタルビデオで録画した映像やDVD映像を16：9のワイド画面で投写できます。

スクイーズモードの映像を
4：3 で投写した場合

スクイーズモードの映像を
16：9 で投写した場合

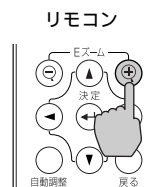
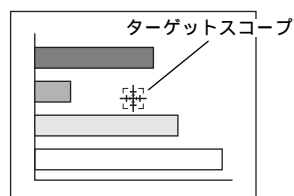
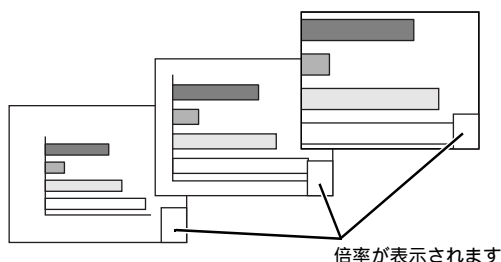
操作

1 **リモコンの[メニュー]ボタンを押し、環境設定メニューから「映像」-「アスペクト比」を選びます。**
操作の詳細は、「環境設定メニューの操作」をご覧ください。☛ p.55

2 **[◄][►] ボタンで、アスペクト比「4：3」または「16：9」のいずれかを選択し、[決定] ボタンを押します。**

3 **設定が終了したら [メニュー] ボタンを押して環境設定メニューを終了します。**

E ズーム機能

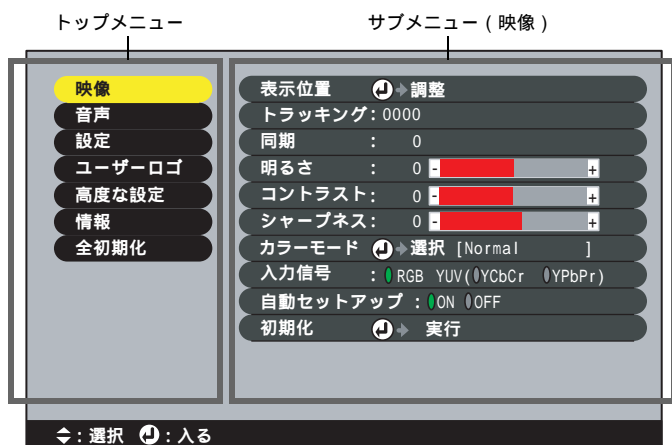
グラフや表など見たい部分を拡大 / 縮小できます。

操作

1 **リモコンの [E ズーム⊕] ボタンを押します。**
投写中の画面に、ズームを行う中心点を表すカーソル (ターゲットスコープ) が表示されます。

2 **拡大 / 縮小表示したい部分にターゲットスコープを移動させます。**
ターゲットスコープの移動は、リモコンの [▲][▼][◄][►] ボタンを押して行います。

3 **リモコンの [⊕] ボタンを押すと、ターゲットスコープを中心に映像が拡大されます。[⊖] ボタンを押すと拡大した結果を縮小します。**
画面右下に倍率が表示されます。
[▲][▼][◄][►] ボタンを押すことによって、画面のスクロールができます。

解除するには [戻る] ボタンを押します。

1 ～ 4 倍まで、0.125 倍刻みに 25 段階で拡大できます。

環境設定メニューの機能と操作

環境設定メニューでは、各種調整や設定ができます。
メニューは、トップメニューとサブメニュー、サブサブメニューがあり、階層構造になっています。
環境設定メニューの操作はリモコンを使って行います。操作方法の詳細は「環境設定メニューの操作」（☛p.55）をご覧ください。

機能一覧

「映像」メニュー

- 入力信号が何も入力されていないときは、「入力信号」、「自動セットアップ」、「ビデオ信号方式」をを除く項目は調整できません。
- 「映像」メニューは投写している入力信号によって表示される項目が異なります。投写している入力信号以外のメニューは調整できません。

コンピュータ（Analog-RGB）

映像メニュー

サブメニュー	機能	初期設定値
表示位置	映像の表示位置を上下左右に移動します。 ・[決定] ボタンを押して表示される表示位置調整画面で調整します。	接続信号による
トラッキング	映像に縦の縞模様が出るときに調整します。	接続信号による
同期	映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出るときに調整します。 ・ちらつき、ぼやけは、明るさやコントラスト、シャープネス、台形補正の調整で発生することもあります。 ・トラッキング調整の後に同期を調整したほうが鮮明に調整できます。	接続信号による
明るさ	映像の明るさを調整します。	中心値 (0)
コントラスト	映像の明暗の差を調整します。	中心値 (0)
シャープネス	映像のシャープ感を調整します。	中心値 (0)
カラーモード	映像の色の鮮やかさを補正します。各ソース (コンピュータ、ビデオ機器) ごとに設定を保存できます。 6 種類の画質から簡単にシーンに合った画質を選択できます。 ・sRGB　：sRGB 規格に準拠した映像にします。※ ・ノーマル：明るさを重視した、明るい部屋でのプレゼンテーション用です。 ・ミーティング：補色をせず、元の色合いのままメリハリを付けた映像にします。 ・プレゼンテーション：暗い部屋でのプレゼンテーション用です。 ・シアター：自然な色合いで映画に最適です。 ・ゲーム　：明るさを重視した、明るい部屋でのゲーム用です。	ノーマル
入力信号	使用する入力信号を選択します。 ・コンピュータ映像を投写する場合は、「RGB」を選択します。	接続信号による
自動 セットアップ	入力信号が切り替わったときに、映像を自動で最適な状態に調整する機能の ON/OFF を設定します。	ON
初期化	「映像」メニューのうち、「入力信号」を除くすべての調整値を初期値に戻します。 ・[決定] ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ・映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ☛ p.54	-

※ sRGB に設定すると「高度な設定」-「カラー調整」の色温度が 6500K に固定されます。

コンポーネントビデオ(YCbCr、YPbPr)

映像
音声
設定
ユーザーロゴ
高度な設定
情報
全初期化
表示位置 調整
明るさ : 0
コントラスト : 0
色の濃さ : 0
色合い : 0
シャープネス : 0
カラーモード 選択 [Theatre]
入力信号 : RGB YUV(YCbCr YPbPr)
アスペクト比 : 4:3 16:9
初期化 実行
:選択 :入る

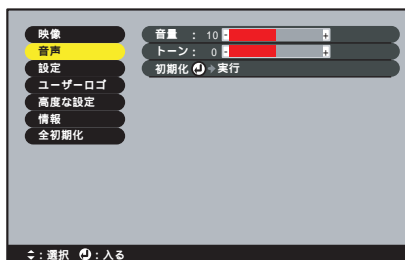
ビデオ (S-ビデオ、ビデオ)

映像メニュー

サブメニュー	機能	初期設定値
表示位置	映像の表示位置を上下左右に移動します。 ・[決定] ボタンを押して表示される表示位置調整画面で調整します。	接続信号による
明るさ	映像の明るさを調整します。	中心値 (0)
コントラスト	映像の明暗の差を調整します。	中心値 (0)
色の濃さ	映像の色の濃さを調整します。	中心値 (0)
色合い	(コンポーネントビデオと NTSC 系の信号入力時のみ調整可能) 映像の色合いを調整します。	中心値 (0)
シャープネス	映像のシャープ感を調整します。	中心値 (0)
カラーモード	映像の色の鮮やかさを補正します。各ソース (コンピュータ、ビデオ機器) ごとに設定を保存できます。 6 種類の画質から簡単にシーンに合った画質を選択できます。 ・sRGB　：sRGB 規格に準拠した映像にします。※ ・ノーマル：明るさを重視した、明るい部屋でのプレゼンテーション用です。 ・ミーティング：補色をせず、元の色合いのままメリハリを付けた映像にします。 ・プレゼンテーション：暗い部屋でのプレゼンテーション用です。 ・シアター：自然な色合いで映画に最適です。白黒伸長機能が働き、黒っぽい映像時や白っぽく明るい映像時も階調 (色の濃淡) 差をはっきりさせ、見やすい映像にします。 ・ゲーム　：明るさを重視した、明るい部屋でのゲーム用です。	シアター
入力信号	(コンポーネントビデオ信号入力時のみ調整可能) 使用する入力信号を選択します。	接続信号による

サブメニュー	機能	初期設定値
ビデオ信号方式	(ビデオ /S-ビデオ信号入力時のみ調整可能) ビデオ信号方式を設定します。 ・[決定] ボタンを押して表示されるビデオ信号方式選択メニューから選択します。 ・「 Auto 」にすると自動的にビデオ信号を設定します。	Auto
アスペクト比	映像のアスペクト比を設定します。	接続信号による
初期化	「映像」メニューのうち、「入力信号」、「ビデオ信号方式」を除くすべての調整値を初期値に戻します。 ・[決定] ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ・映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ☛ p.54	-

※ sRGB に設定すると「高度な設定」-「カラー調整」の色温度が 6500K に固定されます。

「音声」メニュー

サブメニュー	機能	初期設定値
音量	音量を調節します。	中心値 (10)
トーン	音声のトーンを調整します。	中心値 (0)
初期化	「音声」メニューの調整値を初期値に戻します。 ・[決定] ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ・映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ☛ p.54	-

「音声」メニューの調整値は各映像ソースごとに保存されます。

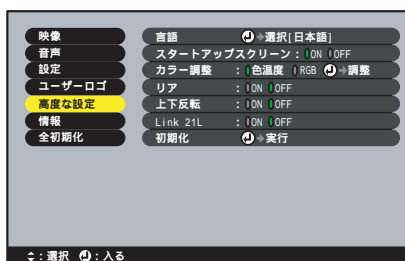
「設定」メニュー

サブメニュー	機能	初期設定値
台形補正	台形にゆがんだ画面を垂直方向に補正します。 ・台形補正をすると画面が小さくなります。 ・台形補正でムラが目立つ場合は、シャープネスを下げてください。	中心値 (0)
自動台形補正	本機の角度を調整したとき、自動的に台形補正する機能のON/OFF を設定します。 「高度な設定」の「リア」、「上下反転」がともに「 OFF 」のときに限り機能が働きます。「リア」、「上下反転」のどちらかが「 ON 」になっていると、このメニューは選択できません。	ON
ノーシグナル表示	入力信号が入力されていないときなどのメッセージ表示の状態、背景の画面の設定を行います。 OFF に設定すると、メッセージは表示されず背景は黒色になります。 ・ユーザーロゴを変更するには、ユーザーロゴの登録と設定が必要です。 ☛ p.77	青
入力表示	入力信号を切り替えたときに、入力信号名を画面に表示するか、しないかを設定します。	ON
カラーモード表示	カラーモードを変更したときに、カラーモード名を画面に表示するか、しないかを設定します。	ON
A/V ミュート	リモコンの [ミュート] ボタンを押したときの画面の状態を設定します。 ・ユーザーロゴを変更するには、ユーザーロゴの登録と設定が必要です。	黒
スリープモード	信号が入力されていないときの省電力機能を設定します。 ・「ON」にしておくと、「映像信号が入力されていません」の表示状態で 30 分間操作しないと自動的に投写を終了し、クールダウン後、スリープモード (スタンバイ状態) になります。(電源インジケータはオレンジ色に点灯しています。) ・本体、またはリモコンの [電源] ボタンを押すと投写を再開します。	ON

サブメニュー	機能	初期設定値
初期化	「設定」メニューの調整値を初期値に戻します。 ・[決定] ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ・映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ☛ p.54	-

「ユーザーロゴ」メニュー

サブメニュー	機能	初期設定値
実行	ユーザーロゴを登録します。 ☛ p.77 ・[決定] ボタンを押して、表示される画面の指示に従って操作します。	EPSON ロゴ

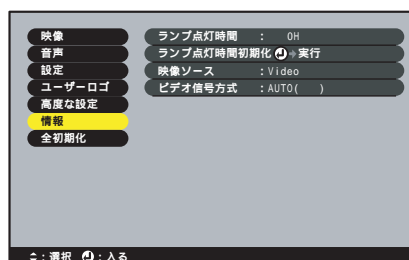
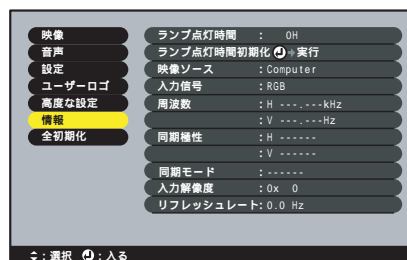
「高度な設定」メニュー

サブメニュー	機能	初期設定値
言語	メッセージに表示する言語を設定します。 ・[決定] ボタンを押して表示される言語の選択メニューから選択します。	日本語

サブメニュー	機能	初期設定値
スタートアップスクリーン	スタートアップスクリーンの表示の有効・無効の設定を行います。 ユーザーロゴを変更するには、ユーザーロゴの登録と設定が必要です。	ON
カラー調整	映像ソースごとに、映像の色温度▶▶と RGB の各色の強さを調整します。 ・色温度　：白色を赤みがかった色から、青みがかった色まで調整できます。 色温度が低いほど赤みを帯びて落ち着いた色調になります。 色温度が高いほど青みを帯びてすがすがしい色調になります。 [決定] ボタンを押して表示されるカラー調整メニューで設定します。 ・RGB　： RGB(赤緑青) の各色ごとの強さを設定します。 [決定] ボタンを押して表示されるカラー定義メニューで R(赤) 、G(緑) 、B(青) の項目を選択し、それぞれ設定します。 設定は画面の状態を見ながら調整してください。 (「映像」-「カラーモード」の調整値を「sRGB」に設定している場合、本項目は選択できません。)	色温度：接続信号により異なる
リア	半透過性のスクリーンに後方から投写するときに使います。 「 ON 」に設定すると投写映像が左右に反転します。	OFF
上下反転	天井に取り付けて投写するときに使います。 「 ON 」に設定すると投写映像が 180 °回転し、逆さまに投写されます。	OFF
Link 21L	ユーティリティソフト「EMP Link21L▶▶」の使用 / 不使用を設定します。 設定を変更後、いったん本機の電源を切ります。クールダウン▶▶が終了後、本機の電源を入れ直すと、以降 EMP Link 21L が使用できるようになります。 ☛『安全に正しくお使いいただくために / サポートとサービスのご案内』の「ユーティリティソフトのご提供」	OFF
初期化	「高度な設定」メニューのうち、「言語」を除くすべての調整値を初期値に戻します。 ・[決定] ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ・映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ☛ p.54	-

「情報」メニュー

- 「情報」メニューは投写している入力信号の設定状態を表示します。
- 「ランプ点灯時間」は、0～10時間までは0Hとして表示されます。10時間以上は1時間単位で表示します。

コンピュータ / コンポーネントビデオ (Analog-RGB 、YCbCr、YPbPr)

ビデオ (S-ビデオ、ビデオ)

サブメニュー	機能	初期設定値
ランプ点灯時間	ランプの累積使用時間を表示します。 ・ランプ寿命警告時間に達すると、文字が警告色 (赤) で表示されます。	0H
ランプ点灯時間初期化	ランプ点灯時間の初期化を行います。実行すると、ランプ点灯時間の累積が初期設定値にクリアされます。	-
映像ソース	現在投写中の入力ソースを表示します。	
入力信号	入力信号の設定を表示します。 (映像ソースがビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)	
ビデオ信号方式	ビデオの信号方式を表示します。 (映像ソースがコンピュータ、コンポーネントビデオの場合は表示されません。)	-
周波数	水平・垂直走査周波数を表示します。 (映像ソースがビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)	-
同期極性	同期の極性を表示します。 (映像ソースがビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)	-
同期モード	同期の属性を表示します。 (映像ソースがビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)	-
入力解像度	入力解像度を表示します。 (映像ソースがビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)	-
リフレッシュレート	リフレッシュレートを表示します。 (映像ソースがビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)	-

「全初期化」メニュー

サブメニュー	機能	初期設定値
実行	環境設定メニューの全項目を初期設定に戻します。 ・[決定] ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ・映像や音声などメニューごとの設定を初期値に戻すときは、それぞれのサブメニューで「初期化」を実行してください。 ・「入力信号」、「ビデオ信号方式」、「ユーザーロゴ」、「ランプ点灯時間」、「言語」は初期値に戻りません。	-

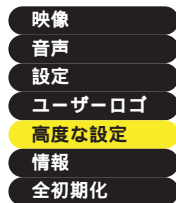
環境設定メニューの操作

環境設定メニューはリモコンで操作します。

操作

1 **リモコンの [メニュー] ボタンを押します。**
トップメニューが表示されます。

リモコン

2 **項目を選択します。**
[▲][▼] ボタンを押して、設定する項目に移動します。

3 **項目を決定します。**
[決定] ボタンを押して項目を決定します。サブメニューが表示されます。

4 **サブ項目を選択します。**
[▲][▼] ボタンを押して、設定するサブ項目に移動します。

「映像」メニューや「情報」メニューは、投写している入力ソースによって表示される項目が異なります。

5 調整値を選択します。
[◄][►] ボタンを押して、調整値を変更します。
機能の ON/OFF などを選択する項目では、[◄][►] ボタンで選択したあと、[決定] ボタンを押して確定させます。

- **設定を実行したり下の階層へ続くサブ項目は、項目名の後ろに ↵ マークが表示されています。この項目の場合は [決定] ボタンを押した後、調整値を選択します。**
- **各設定項目の機能については「機能一覧」をご覧ください。** ☛ p.46

6 続いて他の項目も同様に設定します。
手順2～5と同様です。1つ前の階層に戻るには、[戻る] ボタンを押します。

7 環境設定メニューを終了します。
[メニュー] ボタンを押します。

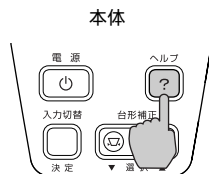
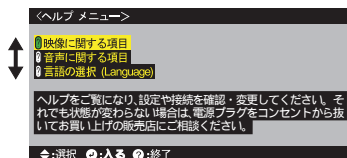
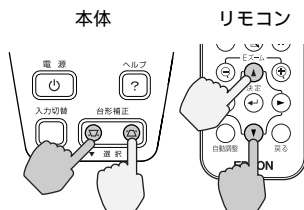
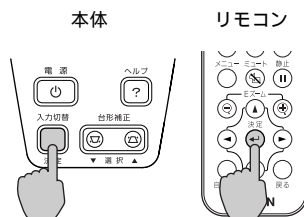
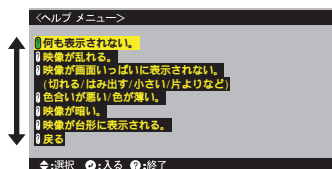
困ったときに

ここでは、想定されるトラブルと、その対処法などについて説明しています。

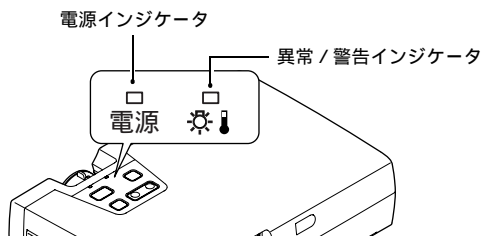
ヘルプの見方

トラブル発生時の解決方法を投写画面に表示できます。質問に答える形式で階層を進んでいきます。

操作

1 **本体の [ヘルプ] ボタンを押します。**
ヘルプメニューが表示されます。

2 **項目を選択します。**
本体の場合は、[▼ 選択 ▲] ボタンが上下キーとして機能します。
リモコンの場合は、[▲][▼] ボタンを押して項目を選択します。

3 **項目を決定します。**
本体、またはリモコンの [決定] ボタンを押して項目を決定します。

4 **手順2、3の操作と同様にさらに詳細な項目を選択・決定します。**
本体の [ヘルプ] ボタンを押すと、ヘルプメニューは解除されます。

ヘルプ機能を使ってもわからないときは、「故障かなと思ったら」(☛ p.59) および「インジケータを見てもわからないとき」(☛ p.62) をご覧ください。

故障かなと思ったら

故障かな？と思ったら、まず本体のインジケータをご覧ください。
本機には、次の 2 種類のインジケータがあり本機の状態を知らせています。

インジケータの状態とその対処方法については、下表を参照してください。

電源インジケータ

■：点灯　▣：点滅

状態	原　因	処置または状態	☛
オレンジ ■	スタンバイ状態	(異常ではありません) この場合に限り、電源ケーブルを抜くことができます。 本体、またはリモコンの [電源] ボタンを押すと投写を開始します。	28
オレンジ ▣	クールダウン中	(異常ではありません) ● そのまましばらくお待ちください。クールダウン▸▸ の時間は約 45 秒間です。 ● クールダウン中は、本体、またはリモコンの ［電源] ボタンを押しても無効となります。クールダウン終了後、もう一度操作してください。	31
緑色 ■	投写中	(異常ではありません)	29
緑色 ▣	ウォーム アップ中	(異常ではありません) そのまましばらくお待ちください。 ウォームアップの時間は約 40 秒です。ウォームアップ終了後、緑色の点灯に変わります。	29

(異常／警告) インジケータ

■ ：点灯　□ ：点滅

状態	原　因	処置または状態	☛
赤色 ■	内部高温異常 (オーバーヒート)	ランプが自動的に消灯し、投写できなくなります。約 5 分間は、そのままの状態で待ちます。 約 5 分後、電源プラグを抜いて、次の 2 点を確認して改善します。 ● エアーフィルタ・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認してください。 ● エアーフィルタが汚れている場合は、掃除をしてください。 電源プラグを差し直すと、状態が復帰します。本体、またはリモコンの [電源] ボタンを押して電源を入れ直します。上記の改善を行っても、繰り返しオーバーヒート状態になったり、電源を入れ直したときにインジケータが異常を示したときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンター(本書裏表紙に記載) に修理を依頼してください。	15 71
赤色 □ (0.5 秒間隔)	ランプ異常	電源プラグをコンセントから抜いてランプを取り出します。ランプが割れていないか確認し、割れていなければ再セットします。その後、電源プラグを差し、本体、またはリモコンの [電源] ボタンを押して電源を入れます。それでも直らないときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンター(本書裏表紙に記載) に修理を依頼してください。	74
		ランプが割れている場合は、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンター (本書裏表紙に記載) にランプ交換を依頼してください。(交換しないと映像を投写することはできません。)	
		ランプやランプカバーが確実に取り付けられているか確認してください。ランプおよびランプカバーが確実に取り付けられていない場合は、ランプが点灯しません。	74
赤色 □ (1 秒間隔)	内部異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンター(本書裏表紙に記載) に修理を依頼してください。	

状態	原　因	処置または状態	☛
オレンジ色 	高速冷却中	(異常ではありません。ただし､さらに高温になると投写を自動的に停止させます。) ● エアーフィルタ・排気口をふさがないよう、通気性のよい場所に設置してください。 ● エアーフィルタの掃除をしてください。	 15 71

ポイント

- **インジケータは異常を示してないのに､投写映像が異常のときは､次ページの｢インジケータを見てもわからないとき｣をご覧ください。**
- **各インジケータがこの表にない状態のときは､販売店またはインフォメーションセンターにお問い合わせください。**

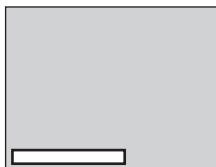
インジケータを見てもわからないとき

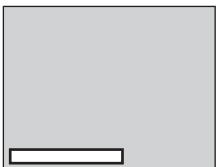
次のような現象でインジケータを見てもわからないときは、各項目を参照してください。

映像が写らない（何も表示されない）

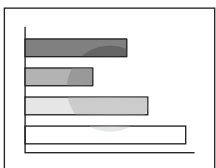
映像が写らない

- **電源を OFF にした後で、すぐ ON にしませんでしたか？**
  投写終了直後（クールダウン中）は、本体、またはリモコンの［電源］ボタンの操作はできません。クールダウンが終了後に、ボタンの操作が有効となります。 ☛ p.31
- **スリープモードを ON にしていませんか？**
  スリープモードを「ON」に設定した場合、映像信号が入らない状態で約 30 分間操作しないと、ランプが自動的に消灯します。このとき電源インジケータはオレンジ色に点灯しています。 ☛「設定」-「スリープ モード」p.50
- **［電源］ボタンを押しましたか？**
  ☛ p.29
- **映像の明るさは正しく調整されていますか？**
  ☛「映像」-「明るさ」p.47,48
- **ミュートの状態になっていませんか？**
  ☛ p.42
- **入力映像そのものが真っ黒になっていませんか？**
  スクリーンセーバーなどで入力映像が真っ黒になっていることがあります。
- **映像信号が入力されていますか？**
  環境設定メニューの「設定」-「ノーシグナル表示」で「OFF」に設定しているときは、メッセージが表示されません。黒または青に設定して、メッセージを表示させてください。メッセージが表示されたときは、それぞれの項目を参照してください。 ☛「設定」-「ノーシグナル表示」p.50
- **全初期化してみてください。**
  ☛ 「全初期化」-「実行」p.54

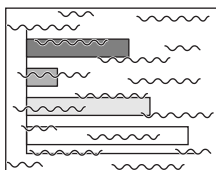
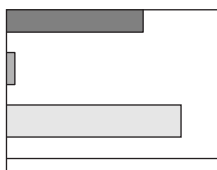
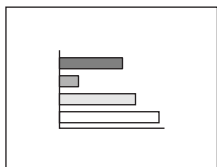
映像が写らない（メッセージが出る）

「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される

- **コンピュータから出力されている映像信号の周波数が対応するモードか確認してください。**
  コンピュータから出力されている映像信号の解像度・周波数の変更は、コンピュータの取扱説明書などでご確認ください。☛ p.84

「映像信号が入力されていません。」と表示される

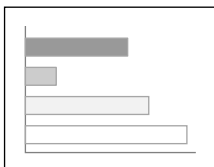
- **ケーブル類が正しく接続されていますか？**
  ☛ p.17 ～ p.25
- **接続した映像入力端子を正しく選択していますか？**
  本体の［入力切替］（リモコンの場合は［コンピュータ］、［S-ビデオ / ビデオ］）ボタンを押し、映像を切り替えてください。☛ p.30
- **接続されたコンピュータまたはビデオ機器の電源は入っていますか？**
  ☛ p.29
- **ノートタイプや液晶一体型タイプのコンピュータのときには、プロジェクターに映像信号を出力させることが必要になります。**
  通常は映像信号が液晶画面への出力だけで、外部に出力されていませんので、外部に切り替えてください。外部に映像信号を出力すると、液晶画面に映像が出せないモデルもあります。接続したコンピュータの取扱説明書の「外部出力のしかた」や「外付けモニターへ出力のしかた」などを参照してください。☛ p.30

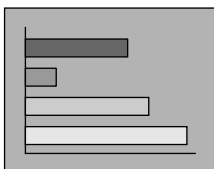
映像が鮮明ではない（ぼやける・乱れる）

・映像がぼやける
・映像の一部しかピントが合わない
・ピントがまったく合わない

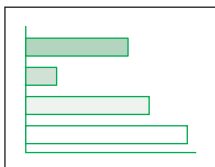
- **ピントは正しく調整されていますか？**
  ☛ p.37
- **レンズカバーが付いたままではありませんか？**
- **フット調整で投写角度が大きくなっていませんか？**
  投写角度が大きい場合、上下でピントがずれて合いにくくなることがあります。☛ p.34
- **投写距離は最適ですか？**
  投写距離の推奨範囲は、1.0m ～ 11.7m です。この範囲で設置してください。☛ p.15
- **投写光がスクリーンに対して直角になっていますか？**
  ☛ p.34
- **レンズが汚れていませんか？**
  ☛ p.70

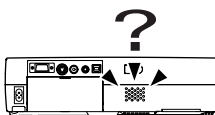
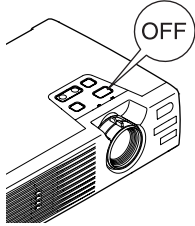
	● **レンズが結露していませんか？** 寒い部屋から急に暖かい部屋へ持ち込んだときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。ご使用になる1時間くらい前に使用する部屋に設置するようにします。結露してしまったときは、電源を切ってしばらくそのまま放置してください。 ● **「同期・トラッキング・表示位置」は正しく調整されていますか？** 環境設定メニューの「映像」-「自動セットアップ」を「OFF」に設定している場合は、リモコンの [自動調整] ボタンを押して調整します。自動セットアップや [自動調整] ボタンで調整を行っても調整しきれない場合は、環境設定メニューで個別に調整することもできます。 ☛ p.37,47 ● **映像の信号形式の設定は合っていますか？** コンピュータや、コンポーネントビデオ、BS デジタルチューナを接続している場合は、環境設定メニューの「映像」-「入力信号」で機器の信号に合った信号方式に設定してください。 ☛ p.47,48 コンポジットビデオ、S-ビデオを接続している場合は、環境設定メニューの「映像」-「ビデオ信号方式」でビデオ信号方式を選択してください。 ☛ p.49
 ・映像が乱れる ・ノイズが入る	● **ケーブルは正しく接続されていますか？** ☛ p.17 ～ p.25 ● **解像度の選択は正しいですか？** 本プロジェクターに対応する信号にコンピュータを合わせてください。信号の変更はコンピュータの取扱説明書などで確認してください。 ☛ p.84 ● **「同期・トラッキング・表示位置」は正しく調整されていますか？** 環境設定メニューの「映像」-「自動セットアップ」を「OFF」に設定している場合は、リモコンの [自動調整] ボタンを押して調整します。自動セットアップや [自動調整] ボタンで調整を行っても調整しきれない場合は、環境設定メニューで個別に調整することもできます。 ☛ p.37,47 ● **ケーブルを延長していませんか？** ケーブルを延長するとノイズが入ることがあります。同梱のケーブルを使用して確認してください。 ● **映像の信号形式の設定は合っていますか？** コンピュータや、コンポーネントビデオ、BS デジタルチューナを接続している場合は、環境設定メニューの「映像」-「入力信号」で機器の信号に合った信号方式に設定してください。 ☛ p.47,48 コンポジットビデオ、S-ビデオを接続している場合は、環境設定メニューの「映像」-「ビデオ信号方式」でビデオ信号方式を選択してください。 ☛ p.49

映像が切れる（大きい / 小さい）

映像が切れる

小さい

- **「アスペクト比」が正しく選択されていない可能性があります。**
  環境設定メニューの「映像」-「アスペクト比」で「4：3」に設定してください。 ☛ p.49
- **E ズーム機能で拡大されたままになっていませんか？**
  リモコンの［ 戻る ］ボタンを押すと E ズーム機能が解除されます。 ☛ p.45
- **「表示位置」は正しく調整されていますか？**
  環境設定メニューの「映像」-「表示位置」で調整してください。 ☛ p.47,48
- **解像度の選択は正しいですか？**
  本プロジェクターに対応する信号にコンピュータを合わせてください。信号の変更はコンピュータの取扱説明書などで確認してください。 ☛ p.84
- **ノートタイプや液晶一体型タイプのコンピュータの解像度を変更してください。**
  画面いっぱいの表示になるよう解像度を変更するか、映像信号を外部出力のみにしてください。 ☛ p.30
- **デュアルディスプレイの設定をしていませんか？**
  接続しているコンピュータのコントロールパネルの「画面のプロパティ」で、デュアルディスプレイの設定をしていると、プロジェクターでコンピータ画面の映像が半分くらいしか表示できません。コンピュータ画面の映像をすべて表示する場合は、デュアルディスプレイの設定を解除します。詳しくは、お使いのコンピュータに組み込んでいるビデオドライバのマニュアルをご覧ください。

映像の色が悪い

- **映像の明るさは正しく調整されていますか？**
  ☛「映像」-「明るさ」p.47,48
- **ケーブル類が正しく接続されていますか？**
  ☛ p.17 〜 p.25
- **映像の信号形式の設定は合っていますか？**
  コンピュータを接続しているのに、環境設定メニューの「映像」-「入力信号」で「YPbPr」や「YCbCr」に設定していると、映像が赤紫色がかって表示されます。
  コンポーネントビデオ▸▸やBSデジタルチューナを接続しているのに、環境設定メニューの「映像」-「入力信号」で「RGB」に設定していると、映像が緑色がかって表示されます。☛ p.47,48
- **コントラスト▸▸は正しく調整されていますか？**
  ☛「映像」-「コントラスト」p.47,48
- **適切なカラー調整に設定されていますか？**
  ☛「高度な設定」-「カラー調整」p.52
- **色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？**
  (コンピュータのモニターや液晶画面への表示と映像の色合いは必ずしも一致しませんが、異常ではありません。)
  ☛「映像」-「色の濃さ」、「色合い」p.48
- **ランプの交換時期ではありませんか？**
  ランプの交換時期が近づくと映像が暗くなったり色合いが悪くなります。新しいランプと交換してください。
  ☛ p.74

映像が暗い

- **ランプの交換時期ではありませんか？**
  ランプの交換時期が近づくと映像が暗くなったり色合いが悪くなります。新しいランプと交換してください。
  ☛ p.74
- **映像の明るさは正しく調整されていますか？**
  ☛「映像」-「明るさ」p.47,48
- **コントラスト▸▸は正しく調整されていますか？**
  ☛「映像」-「コントラスト」p.47,48

映像が緑色で表示される

- **コンポーネントビデオ▸▸の入力信号の設定が接続機器の信号と合っていますか？**
  コンポーネントビデオ機器を接続しているのに、環境設定メニューの「映像」-「入力信号」で「RGB」に設定していると、映像が緑色で表示されます。接続機器の信号に合った信号方式を設定してください。 ☛「映像」-「入力信号」p.48

音が出ない

- **音声入力は正しく接続されていますか？ ☛ p.20,26**
- **音量調整が最小になっていませんか？**
  ☛ p.49
- **ミュートの状態になっていませんか？**
  ミュートモードになっていることが考えられます。
  リモコンの [ミュート] ボタンを押してミュートを解除してください。 ☛ p.42

リモコンで操作できない

- **リモコンの発光部をプロジェクターのリモコン受光部に向けて操作していますか？**
  操作可能範囲は、左右約 30 °、上下約 15 °です。
- **プロジェクターとの距離が遠すぎませんか？**
  操作可能距離は、約 6 m です。 ☛ p.13
- **リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか？**
- **電池の絶縁テープを引き抜いてありますか？**
  ☛ p.12
- **電池は入っていますか？**
  ☛ p.72
- **電池が消耗していませんか？**
- **電池が逆にセットされていませんか？**
  ☛ p.72

終了しない ([電源] ボタンを押した後に…)

- **電源インジケータがオレンジに点灯したままになっている。**
  本機は電源を切っても電源インジケータは消灯しない構造になっています。コンセントから電源プラグを抜くと、電源インジケータは消灯します。
- **ファンが止まらない。**
  本体、またはリモコンの [電源] ボタンを押して電源を切った後、クールダウンを行います。
  その後、電源インジケータがオレンジに点灯しますので、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  ※クールダウンの時間は、約 45 秒です。この時間は外気温などによって変わります。

付　録

ここでは、メンテナンス方法など、本機を今後も長くご使用いただくための補足的な知識について説明しています。

お手入れの方法

ここでは、お手入れの方法や消耗品の交換などのメンテナンスについて説明しています。

各部の掃除

本体が汚れたり、映像の写りが悪くなったら掃除をしてください。

掃除を行う前に、別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内』を必ずお読みください。

本体の掃除

本体の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。

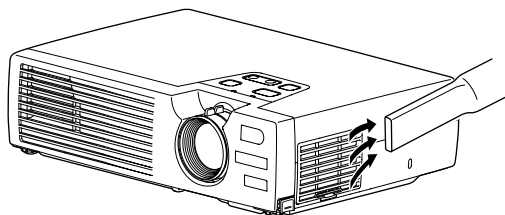
ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

レンズの掃除

レンズの汚れは、市販のブロワーやレンズクリーニングペーパーなどで軽くふき取ってください。

レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

エアーフィルタの掃除

エアーフィルタにホコリがたまると、空気の通りが悪くなり、内部の温度が上昇し、故障の原因となります。
エアーフィルタのホコリは、本機を水平にしたまま、掃除機で吸い取ってください。

- **エアーフィルタの汚れが落ちなくなったり、破れたりしたら交換時期ですので、販売店にご相談ください。**
- **交換用ランプには、交換用エアーフィルタが同梱されています。ランプ交換時に、一緒に交換してください。**

消耗品の交換

ここでは、リモコンの電池、ランプ、エアーフィルタの交換方法について説明しています。

電池の交換方法

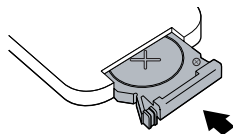
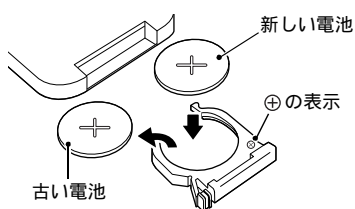
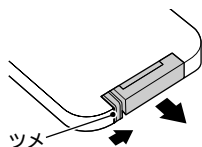
交換用の電池は、次のものをご用意ください。
リチウム電池 CR2025 × 1 個

電池を取り扱う前に、別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内』を必ずお読みください。

操作

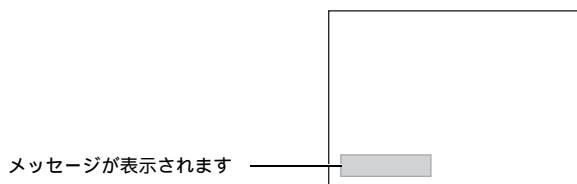
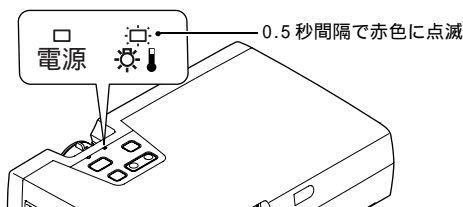
1 電池ホルダを外します。
電池ホルダのツメを内側へ押さえたまま引き出します。

2 古い電池を取り出し、新しい電池と交換します。
新しい電池は、電池ホルダ内の (＋) の表示を確認し、向きを間違えないようにセットします。

3 電池ホルダを取り付けます。
カチッと音がするまでホルダを押し込みます。

使用済みの電池は、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。

ランプの交換時期

次のときは、ランプを交換してください。

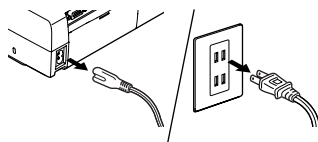
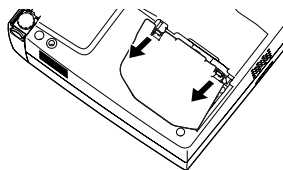
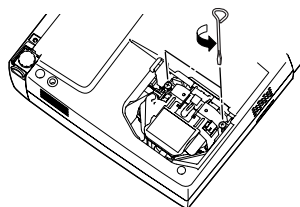
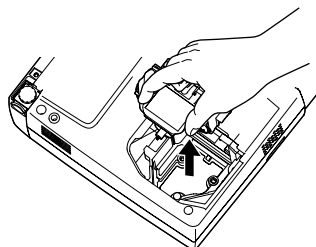
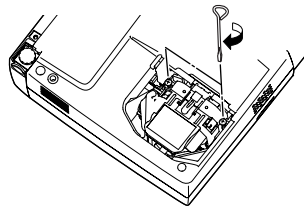
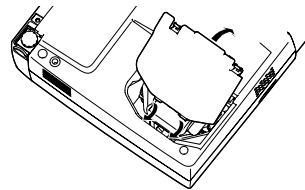
- **投写を開始したときに「投写ランプを交換してください」とメッセージが30 秒間表示されたとき**

- **☼🌡インジケータが 0.5 秒間隔で赤色に点滅したとき**

- **初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき**

- 交換表示は、初期の明るさや画質を維持するため、約1400時間で表示されます。交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 交換表示は約1400時間で出ますが、個々のランプの特性や使用条件などで、1400 時間前に暗くなったり、点灯しなくなるものがあります。交換用ランプをあらかじめ準備しておくことをお奨めします。
- 交換用ランプはお近くのエプソン商品取扱店および、エプソンOA サプライ株式会社フリーダイヤル (0120)251-528 でお買い求めください。

ランプの交換方法

- **ランプが点灯しなくなり交換する場合は、ランプが割れている可能性があります。**
  本機を天吊りで使用していてランプ交換を行う場合、ランプが割れていることを想定し、ランプカバーをそっと取り外してください。
- **ランプが十分冷えてからランプカバーを外してください。ランプが十分冷えるには、クールダウン後、約1時間必要です。**

操作

1 **本体の電源を切り、クールダウンが終了してから、電源ケーブルを外します。**
クールダウンの時間は、約45秒です。この時間は外気温などによって変わります。

2 **ランプが十分冷えてから、本体底面のランプカバーを外します。**
ランプが十分冷えるには、クールダウン後約1時間必要です。
2 箇所のフック部分を押さえたまま、引き起こしてから取り外します。

3 **ランプ固定ねじ２本をゆるめます。**
ランプを本体に固定しているランプ固定ねじ 2 本を、交換用ランプに同梱のドライバ、または＋のドライバでゆるめます。

4 **古いランプを取り外します。**
くぼみに指を入れ、ランプをつまんで引き上げます。

5 **新しいランプを取り付けます。**
ランプを収納部の形に合う向きにして、カチッと音がするまで押し込み、ランプ固定ねじ2本を締めます。

6 **ランプカバーを取り付けます。**
カバーの2ヶ所のツメを本体に差し込み、反対側をカチッと音がするまで押し込みます。

- **ランプは確実に取り付けてください。本機は安全のため、ランプカバーを外すと自動的にランプが消灯します。ランプやランプカバーの取り付けが不十分だとランプが点灯しません。**
- **交換用ランプに交換用エアーフィルタが同梱されています。ランプ交換時に合わせて交換してください。** ☛ p.76
- **使用済みのランプは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。**

ランプ点灯時間の初期化

本機にはランプ点灯時間のカウンタが内蔵されており、カウンタの累積が一定時間に達すると、ランプ交換の表示を行います。したがって、ランプ交換を実施した後は、環境設定メニューでランプ点灯時間のカウンタを初期化する必要があります。

ランプ点灯時間の初期化は、ランプを交換したとき以外は行わないでください。ランプの交換時期が正しく表示されなくなります。

操作

1 **電源ケーブルを接続し、本機の電源を入れ、リモコンの[メニュー]ボタンを押します。**
トップメニューが表示されます。

リモコン

2 **「情報」-「ランプ点灯時間初期化」の項目を選択し、[決定] ボタンを押します。**

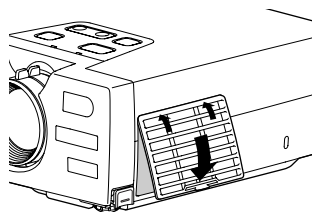
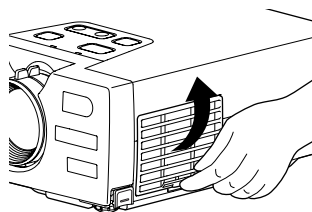
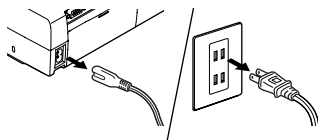
3 **「はい」を選択して、[決定] ボタンを押します。**
ランプ点灯時間が初期化されます。

エアーフィルタの交換方法

操作

1 **本体の電源を切り、クールダウン▸▸が終了してから電源ケーブルを外します。**
クールダウンの時間は、約 45 秒間です。この時間は、外気温などによって変わります。

2 **エアーフィルタのフック部分のくぼみに指をかけて持ち上げ、エアーフィルタを外します。**

3 **新しいエアーフィルタをセットします。**
つめの部分を先に入れてから反対側をカチッと音がするまで押し込みます。

使用済みのエアーフィルタは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。

ユーザーロゴの登録

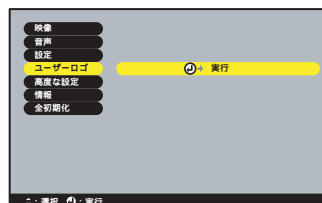
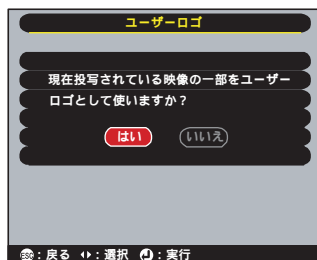
現在表示している映像をユーザーロゴとして登録します。

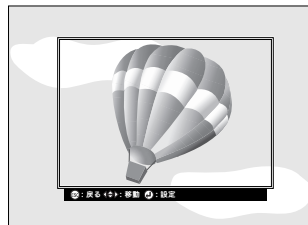
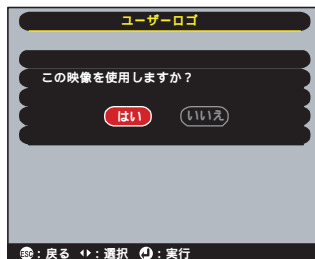
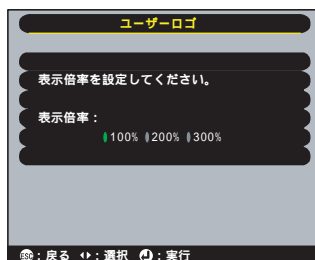
ユーザーロゴの登録を実行すると、現在登録されているユーザーロゴは消去されます。

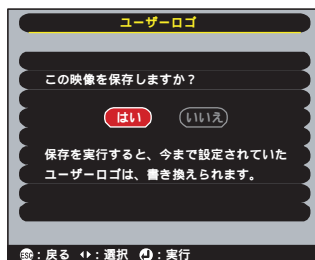
操作

1 **ユーザーロゴとして登録したい映像を投写し、リモコンの[メニュー]ボタンを押します。**

2 **「ユーザーロゴ」メニューを選択し、[決定] ボタンを押します。**

台形補正やEズームを行っている場合、「ユーザーロゴ」を選択すると、台形補正やＥズームは解除されます。

3 **サブメニューで「はい」を選択し、[決定] ボタンを押します。**

4 **登録する映像と選択枠が表示されるので、使う位置を選択します。**

リモコンの [▲][▼][◄][►] ボタンを押して、ユーザーロゴとして使いたい部分を選択したのち、[決定] ボタンを押します。

5 **使用確認画面で「はい」を選択し、[決定] ボタンを押します。**

6 **表示倍率設定画面で倍率を選択し、[決定] ボタンを押します。**

7 **保存確認画面で「はい」を選択し、[決定] ボタンを押します。**

映像が保存されます。保存が終了すると「ユーザーロゴの設定が終了しました。」とメッセージが表示されます。

- 保存にはしばらく時間がかかります (約 15 秒)。保存している間は、プロジェクターや接続している機器を操作しないでください。故障の原因になります。
- 登録できるサイズは 480 × 360 ドットです。
- XGA▸▸ 以外の解像度のときと、ビデオ映像を投写しているときは、表示サイズが変更されます。
- ユーザーロゴは一度登録すると、初期設定状態には戻せません。

オプション品一覧

下記のオプション品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。これらのオプション品類は2002年８月現在のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

ソフトキャリングケース　ELPKS16 ハンドキャリングするときに使います。
交換用ランプ　ELPLP18 使用済みランプと交換します。
携帯スクリーン (50 型) ELPSC06 持ち運びに便利なコンパクトスクリーンです。
60 型スクリーン　ELPSC07 **80 型スクリーン　ELPSC08** **100 型スクリーン　ELPSC10** 携帯型ロールスクリーンです。
コンピュータケーブル　ELPKC02 **(ミニ D-Sub 15pin/ ミニ D-Sub 15pin 用 1.8m)** 本機にコンピュータを接続して投写したいときに本ケーブルを使います。
コンピュータケーブル　ELPKC09 **(ミニ D-Sub 15pin/ ミニ D-Sub 15pin 用 3m)** **コンピュータケーブル　ELPKC10** **(ミニ D-Sub 15pin/ ミニ D-Sub 15pin 用 20m)** 製品同梱のコンピュータケーブルでは短いときの延長ケーブルです。
コンピュータケーブル　ELPKC11 **(ミニ D-Sub 15pin/5BNC 用 1.8m)** 5BNC 端子のコンピュータと接続するときに使います。
D 端子ケーブル　ELPKC22 **(ミニ D-Sub 15pin/D 端子用 3m)** BS デジタル放送チューナと接続するときに使います。
コンポーネントビデオケーブル　ELPKC19 **(ミニ D-Sub 15pin/RCA × 3 用 3m)** コンポーネントビデオ▶▶を投写するときに使います。
天吊り金具※　ELPMB10 本機を天井に取り付けるときに使います。
天井プレート※　ELPFC03 **パイプ 370 (370mm シルバー) ※　ELPFP04** **パイプ 570 (570mm シルバー) ※　ELPFP05** **パイプ 770 (770mm シルバー) ※　ELPFP06** 高天井および化粧天井に取り付けるときに使います。
マルチメディアビューワー　ELPDC02 **ELPDC03** **ELPDC04** 書籍や OHP 原稿、スライドを投写するときなどに使います。

※天吊り設置には特別な技術が必要となります。お買い求めいただいた販売店にご相談ください。

用語解説

本書で使用している用語で、本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細に付いては市販の書籍などを利用してください。

5BNC	アナログのビデオ信号を入力するコネクタです。
EMP Link21L	本機をコンピュータと接続して、コンピュータから本機の制御を行うユーティリティソフトです。ご提供方法やソフトの詳細についてはホームページ「I Love EPSON」をご覧ください。
HDTV	High-Definition Television の略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。 ・垂直解像度 750p、1125i 以上 (p はプログレッシブ走査、i はインタレース走査) ・画面のアスペクト比は 16：9 ・ドルビーデジタル音声の受信，再生（あるいは出力）
S-ビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。 Y(輝度信号)C(色信号)の2つの独立した信号からできている映像をいいます。
sRGB	各画像装置が表現する色をコンピュータのオペレーティングシステム(OS)やインターネットで簡単に扱うために規定された色空間に関する国際標準です。
SVGA	IBM PC/AT 互換機(DOS/V 機)の信号で横 800 ドット×縦 600 ドットのものを呼びます。
SXGA	IBM PC/AT 互換機(DOS/V 機)の信号で横 1,280 ドット×縦 1,024 ドットのものを呼びます。
USB	Universal Serial Bus の略で、比較的低速な周辺機器とパソコン間を接続するためのインターフェイスです。
UXGA	IBM PC/AT 互換機(DOS/V 機)の信号で横 1,600 ドット×縦 1,200 ドットのものを呼びます。
VGA	IBM PC/AT 互換機(DOS/V 機)の信号で横 640 ドット×縦 480 ドットのものを呼びます。
XGA	IBM PC/AT 互換機(DOS/V 機)の信号で横 1,024 ドット×縦 768 ドットのものを呼びます。
YCbCr	現行のテレビ(NTSC 方式)で、カラーバー信号波の中にある伝送用信号のことです。Y(輝度信号)CbCr(クロマ(色)信号)で表します。
YPbPr	ハイビジョンで、カラーバー信号波の中にある伝送用信号のことです。 Y(輝度信号)PbPr(色差信号)で表します。
アスペクト比	画面の縦と横の比率をいいます。縦横の比率が 16：9 と横長になっている画面をワイド画面といいます。標準画面のアスペクト比は 4：3 です。
色温度	光を発する物体の温度をいいます。色温度が高いと青みがかった色合いになり、色温度が低いと赤みがかった色合いになります。
インタレース	1つの画面を表示するときに情報を横方向に細かい線に分け、左から右へ、上から下へ順次表示させます。このとき偶数線分と奇数線分を交互に表示する方法をいいます。

クールダウン	本体、またはリモコンの [電源] ボタンを押しランプを消灯させても、ランプの冷却は引き続き行われています。ランプが消灯してから冷却ファンが回転するのと同時に、操作ボタンでの操作ができなくなります。この間をクールダウンと呼びます。クールダウン時間は、約 45 秒です。この時間は外気温等によって変わります。
コントラスト	色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がハッキリ見えたり、ソフトに見えたりすることです。この調整をコントラストの調整といいます。
コンポーネントビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。 ハイビジョンにおいて、Y(輝度信号)Pb 、Pr(色差信号) の３つの独立した信号からできている映像をいいます。
コンポジットビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を混合した、一般的な家庭用ビデオ信号 (NTSC 、PAL 、SECAM) です。 カラーバー信号の中の伝送用信号 Y(輝度信号) とクロマ (色) 信号からできている映像をいいます。
同期 (Sync.)	コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の位相 (山のずれ) を合わせることを同期を合わせるといいます。同期が合っていないと投写映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。
盗難防止用ロック	プロジェクターのケースに備え付けられた穴に市販の盗難防止用ケーブルを通し、机や柱などに固定できます。kensington 社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。日本正規輸入代理店の連絡先は、以下のとおりです。 七陽商事株式会社　情報機器事業部 〒 103-0007 東京都中央区日本橋浜町 2-55-7(ナナヨービル) Tel:03-3663-7787 Fax:03-3669-2367
トラッキング	コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の周波数 (山の数) を合わせることをトラッキングを合わせるといいます。トラッキングが合っていないと投写映像に幅広の縦の縞模様が出ます。
ドルビーデジタル	ドルビー研究所で開発されたサウンド方式です。通常のステレオは 2 つのスピーカを用いた 2ch 方式ですが、ドルビーデジタルは、それにセンタースピーカ、リア 2ch スピーカ、サブウーファを追加した 6ch（5.1ch）方式となっています。
プログレッシブ	1 つの画面を作り出す情報を上から下へ順次走らせて一画面を構成する方式をいいます。
リサイズ表示	本機のパネルサイズの画素数より多い、あるいは少ない解像度のコンピュータからの映像も表示サイズいっぱいになるように投写する機能です。
リフレッシュレート	ディスプレイの発光体は、その明るさと色をごく短時間保持します。そのため発光体をリフレッシュするために 1 秒間に何度も画像を走査しなければなりません。その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ (Hz) で設定します。

ESC/VP21 コマンド一覧

コマンドリスト

電源 ON コマンドを送信すると、電源が ON になり、プロジェクターがコマンド受付け可能になると‘ 3Ah ’(：)を返します。
また、コマンド処理が終了した場合も、‘ ： ’が返信されます。
‘ ： ’を待つことで、プロジェクターの Ready/Busy を知ることができます。
異常終了の場合は、エラーメッセージを出力した後に‘ ： ’を送信します。

項　目		コマンド
電源の ON/OFF	ON	PWR ON
	OFF	PWR OFF
信号切り替え	Computer/Component Video (Analog-RGB)	SOURCE 11
	Computer/Component Video (YCbCr)	SOURCE 14
	Computer/Component Video (YPbPr)	SOURCE 15
	Video	SOURCE 41
	S-Video	SOURCE 42
ミュート機能の ON/OFF	ON	MUTE ON
	OFF	MUTE OFF
ミュート機能の切り替え	黒	MSEL 00
	青	MSEL 01
	ユーザーロゴ	MSEL 02

USB 通信の準備

本機を ESC/VP21 コマンドで制御するには、本機とコンピュータを USB ケーブルで接続して行います。USB 接続による通信を行うには、事前に次の準備が必要です。

操作

1 **エプソンホームページ「I Love EPSON」から「EMP Link21L」をダウンロードします。**
URL は裏表紙をご覧ください。

2 **USB 通信ドライバ (USB-COM Driver) が同時にダウンロードされるので、お使いのコンピュータにそのUSB通信ドライバをインストールします。**
インストールの詳細は、同時にダウンロードされる『EMP Link21L ユーザーズガイド』をご覧ください。

3 **本機の環境設定メニューで「高度な設定」-「Link 21L」を「ON」に設定します。**

4 **本機の電源を切ります。**

5 **クールダウンが終了後、本機の電源を入れます。**
本機の電源を入れ直した以降、USB 接続による通信が可能になります。

対応解像度一覧

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)	リサイズ表示時使用画素数 (ドット)	
			ELP-730/720	ELP-520
PC98		640 × 400	1024 × 640	800 × 500
EGA		640 × 350	1024 × 560	800 × 438
VGA	60	640 × 480	1024 × 768	800 × 600
VGACGA		640 × 400	1024 × 640	800 × 500
VGAEGA		640 × 350	1024 × 560	800 × 438
VGA text		720 × 400	1024 × 568	800 × 444
		720 × 350	1024 × 498	800 × 388
VESA	60/72/75/85, iMac ※	640 × 480	1024 × 768	800 × 600
SVGA	56/60/72/75/ 85,iMac ※	800 × 600	1024 × 768	800 × 600
XGA	43i/60/70/75/ 85,iMac ※	1024 × 768	1024 × 768	800 × 600
SXGA	70/75/85	1152 × 864	1024 × 768	800 × 600
SXGA	60/75/85	1280 × 960	1024 × 768	800 × 600
SXGA	43i/60/75/85	1280 × 1024	960 × 768	750 × 600
UXGA	48i/60	1600 × 1200	1024 × 768	-
MAC13 ”		640 × 480	1024 × 768	800 × 600
MAC16 ”		832 × 624	1024 × 768	800 × 600
MAC19 ”		1024 × 768	1024 × 768	800 × 600
MAC19 ”	60	1024 × 768	1024 × 768	800 × 600
MAC21 ”		1152 × 870	1016 × 768	794 × 600
NTSC		640 × 480	1024 × 768	800 × 600
PAL/SECAM		720 × 540	1024 × 768	800 × 600
HDTV(525i)		640 × 480	1024 × 768	800 × 600
HDTV(525p)		640 × 480	1024 × 768	800 × 600
HDTV(750p)	60	1280 × 720	1024 × 576	800 × 450
HDTV(1125i)	60	1920 × 1080	1024 × 576	800 × 450

※　VGA 出力ポートが装着されていない機種には接続できません。

上記以外の信号が入力された場合でも、映像を投写できることがあります。
ただし、この場合、機能が制限されることがあります。

仕様一覧

商品名	マルチメディアプロジェクター　ELP-730/720/520	
外形寸法	幅 276 ×高さ 70 ×奥行き 190mm(フット含まず)	
パネルサイズ	0.9 型	
表示方式	ポリシリコン TFT アクティブマトリクス	
画素数	ELP-730/720 :XGA　786,432 個 (横 1024 ×縦 768 ドット) × 3 ELP-520 :SVGA　480,000 個 (横 800 ×縦 600 ドット) × 3	
フォーカス調整	手動	
ズーム調整	手動 (約 1：1.16)	
ランプ (光源)	UHE ランプ　定格 150W　型番：ELPLP18	
音声最大出力	1W モノラル	
スピーカ	1 個	
電源	100-240V ± 10%、50/60Hz AC 定格消費電力 225W　スタンバイ時 5.5W (100V 時)	
使用温度範囲	＋ 5 ℃～＋ 35 ℃ (結露しないこと)	
保存温度範囲	－ 10 ℃～＋ 60 ℃ (結露しないこと)	
質量	約 1.9kg	
接続端子	コンピュータ / コンポーネントビデオ端子：	1 系統　ミニ D-Sub 15pin(メス)
	音声入力端子：	1 系統　ステレオミニジャック
	ビデオ端子：	1 系統　RCA ピンジャック
	S-ビデオ端子：	1 系統　ミニ DIN 4pin
	USB 端子：	1 系統　USB コネクタ (B タイプ)

※ USB 端子は、USB 対応機器すべての動作を保証するものではありません。

外形寸法図

M3X8-3

70

15

13.4

57

27

53

89.9

190

38.8

103.5

124

単位：mm

索引

数字・アルファベット

アイウエオ

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

ラ

ワ

ご注意

(1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
(4) 運用した結果の影響につきましては、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者（裏表紙参照）以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
(7) 本書中のイラストと本体の形状は異なる場合があります。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外で使用する際には、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国に合った純正電源ケーブルを現地にてお買い求めください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬低（瞬時電圧低下）基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦めします。

漏洩電流自主規制について

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパソコン業界基準 (PC-11-1988) に適合しております。

電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

商標について

IBM、DOS/V は、International Business Machine Corp. の商標または登録商標です。
Macintosh、Mac、iMac は、Apple Computer, Inc. の登録商標です。
Windows、Windows NT は米国マイクロソフト社の商標です。
EPSON はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

EPSON

●エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」http://www.i-love-epson.co.jp
各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。
インターネット FAQ エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.i-love-epson.co.jp/faq/

●エプソンサービスコールセンター
修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

0570ー004141（全国ナビダイヤル）　【受付時間】9:00〜17:30 月〜金曜日（祝日・弊社指定休日を除く）

＊ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。
＊携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、（042）582-6888までお電話ください。
＊新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。

●修理品送付・持ち込み・ドア toドアサービス依頼先
お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	ドア toドアサービス受付電話	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス㈱	同右	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス㈱	0263-86-9995 ドア toドア専用受付電話 365日受付可	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱		042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱	同右	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス㈱	同右	098-852-1420

＊「ドア toドアサービス」は修理品の引き上げからお届けまで、ご指定の場所に伺う有償サービスです。お問い合わせ・お申込は、上記修理センターへご連絡ください。
＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。【受付時間】月曜日〜金曜日　9:00〜17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊修理について詳しくは、ホームページアドレスhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

●プロジェクターインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。
0570ー004110（ナビダイヤル）※【受付時間】月〜金曜日9:00〜20:00 土曜日10:00〜17:00（祝日・弊社指定休日を除く）
＊ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。
＊携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、（0263）54-5800までお電話ください。
＊新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。

●FAXインフォメーション　EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。
札幌（011）221ー7911　東京（042）585ー8500　名古屋（052）202ー9532　大阪（06）6397ー4359　福岡（092）452ー3305

●ショールーム　＊詳細はホームページでもご確認いただけます。
エプソンスクエア新宿　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】月曜日〜金曜日 9:30〜17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
エプソンスクエア御堂筋　〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】月曜日〜金曜日 9:30〜17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON
エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	http://myepson.i-love-epson.co.jp/

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●エプソンディスクサービス
各種ドライバの最新バージョンを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認ください。

●消耗品のご購入
お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ株式会社 フリーダイヤル0120ー251528　でお買い求めください。

エプソン販売株式会社　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン株式会社　〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

82202002

この取扱説明書は100％再生紙を使用しています。

環境にやさしい大豆油インキを使用しています。

Printed in Japan
403216501
02.09-1.1A(C05)